
easyHousing

環境設定マニュアル WindowsVista 編 第 1.5 版

2013年1月18日

日本電気株式会社

改版履歴

版	作成日	内容
初版	2011/08/29	・ 新規作成
1.1 版	2012/01/20	・ 改版履歴を追加 ・ 4.1 Internet Explorer の設定 「インターネットオプション」 「インターネット」の設定を「信頼済みサイト」で行うように修正 それに伴い、Cookie とポップアップブロックの設定手順を削除
1.2 版	2012/05/15	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ④ セキュリティの設定に「アプリケーションと安全でないファイルの起動」にチェックする手順を追加 ・ 5.1 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール ⑧ 既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合の手順を追加 ・ 5.2 JRE のインストール JRE1.7 のインストール手順に変更
1.3 版	2012/07/24	・ 4.1 Internet Explorer の設定 ポップアップブロック解除手順を追加 ・ JRE と電子証明書ライブラリのインストール順を変更 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 読み込み画面の説明を追加
1.4 版	2012/08/20	・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 初回接続時の警告メッセージを追加
1.5 版	2013/01/18	・ 2.1 Windows ユーザの権限について 文章の構成を修正(仕様変更は無し) ・ 3 電子証明書 証明書の削除手順を追加し、既存部分の説明を一部修正。 ・ 5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール 初回接続時の手順を JRE1.6 から JRE1.7 に変更 ・ 5.3 Adobe Reader のインストール Adobe Reader のバージョンの例を 9 から X(10)に変更

目 次

1	はじめに	2
2	利用者環境	3
2.1	Windows ユーザの権限について	3
3	電子証明書	4
3.1	電子証明書のインストール	4
3.2	電子証明書の削除	8
4	インターネットエクスプローラ	11
4.1	Internet Explorer の設定	12
5	必要ソフトウェアのセットアップ	20
5.1	JRE のインストール	20
5.1.1	JRE1.7 のインストール手順	22
5.2	easyHousing 電子署名ライブラリのインストール	24
	(補足) Administrator 権限の追加・削除手順	37
5.3	Adobe Reader のインストール	41

1 はじめに

このマニュアルは、本サービス利用にあたり事前に準備が必要な項目を説明します。

- ・利用者環境の確認
- ・電子証明書のインストール
- ・インターネットエクスプローラの設定
- ・必要ソフトウェア（電子署名ライブラリ、JRE、Adobe Reader）のセットアップ

※このマニュアルは、**WindowsVista** を対象としています。

2 利用者環境

2.1 Windows ユーザの権限について

本サービスは事前準備の段階で、サービスを利用するユーザに Administrator 権限が必要になります。

(Administrator 権限が無い場合、一時的に付与する必要があります)

事前準備終了後、サービス利用時は Administrator 権限が無くても問題ありません。

電子証明書のインストール	Administrator 権限は不要です。
インターネットエクスプローラの設定	Administrator 権限は不要です。
電子署名ライブラリのインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限の付与は必須です。
JRE のインストール	Administrator 権限が無い場合、Administrator 権限を持つ他のユーザからインストール可能です。
Adobe Reader のインストール	同上

3 電子証明書

3.1 電子証明書のインストール

電子証明書のインストール手順を説明します。

- ※ 本作業は、発注処理・請負処理の契約行為を行う端末に必要な作業です。
参照するだけであれば不要です。

●用意するもの

- *1 「easyHousing 電子証明書」のCD-ROM
- *2 「証明書パスワード（PINコード）」を記載している葉書

※証明書を更新する場合、新しい証明書もインストールする手順は同じですが、古い証明書を削除する必要があります。

(8 ページ『3.2 電子証明書の削除』を参照してください)

①電子証明書のCD-ROM (*1) をドライブにセットしてください。

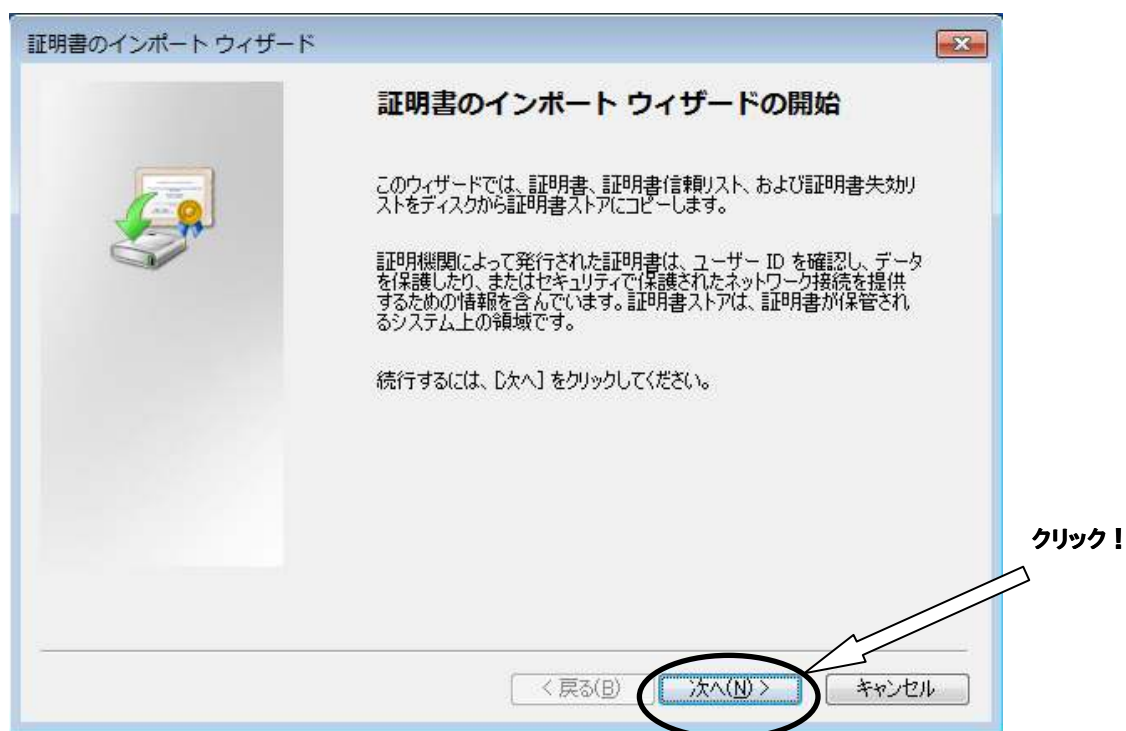
「CERT_xxxxxx.p12」をダブルクリックし、インストールを開始します。

◆メモ◆

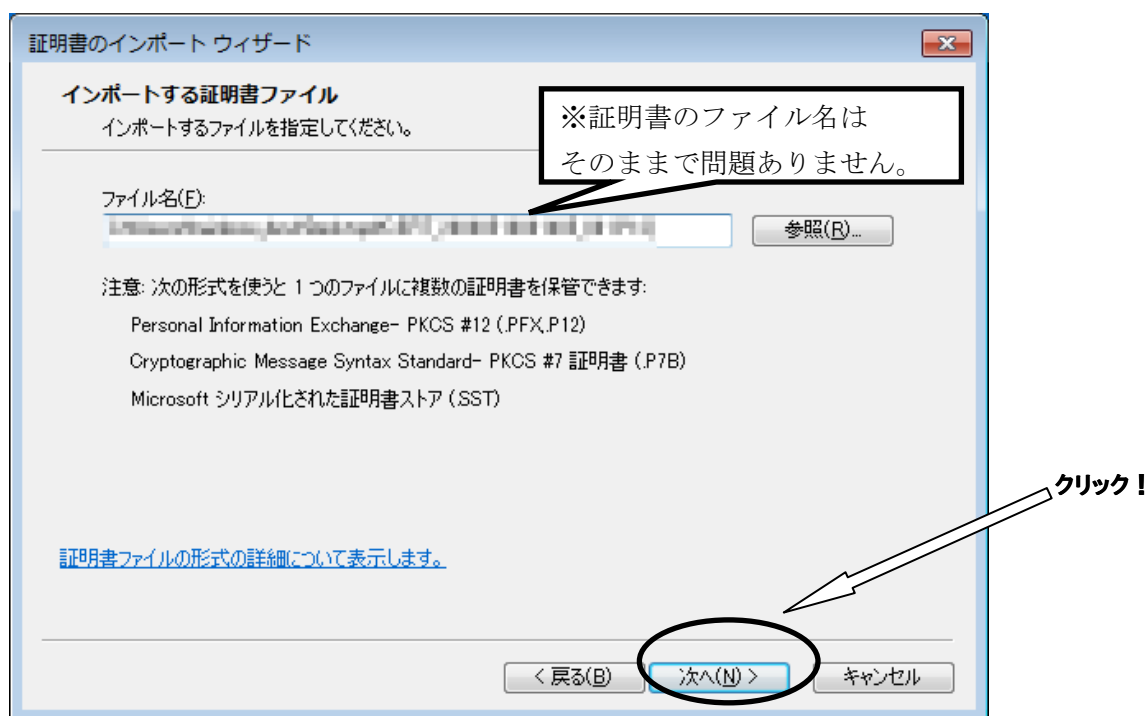
オートラン機能が有効なシステムでは、CD-ROM の内容が自動的に読み込まれ 下図の画面が表示されます。

オートランに対応していないシステムや、ファイルを指定してインストールする場合は、エクスプローラから CD-ROM ドライブを開いていただければ同様な操作ができます。

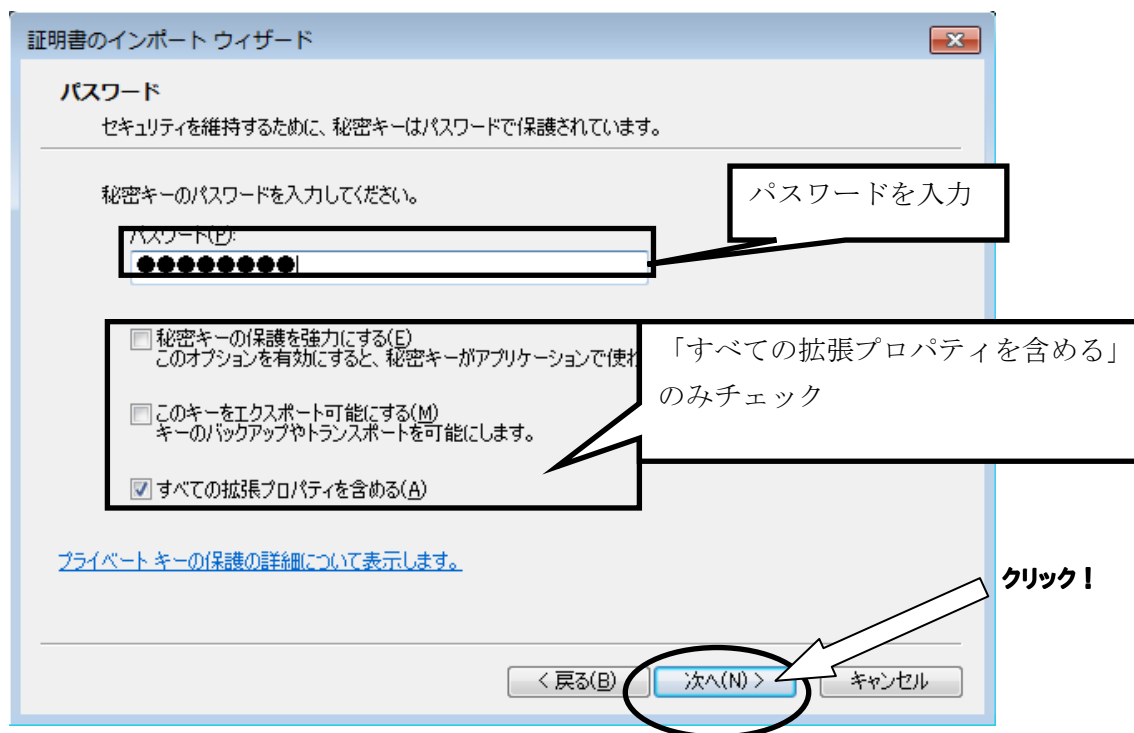
- ②「証明書のインポートウィザード」が表示されるので、『次へ』ボタンをクリックします。



- ③<インポートする証明書ファイル>画面が表示されます。『次へ』ボタンをクリックします。



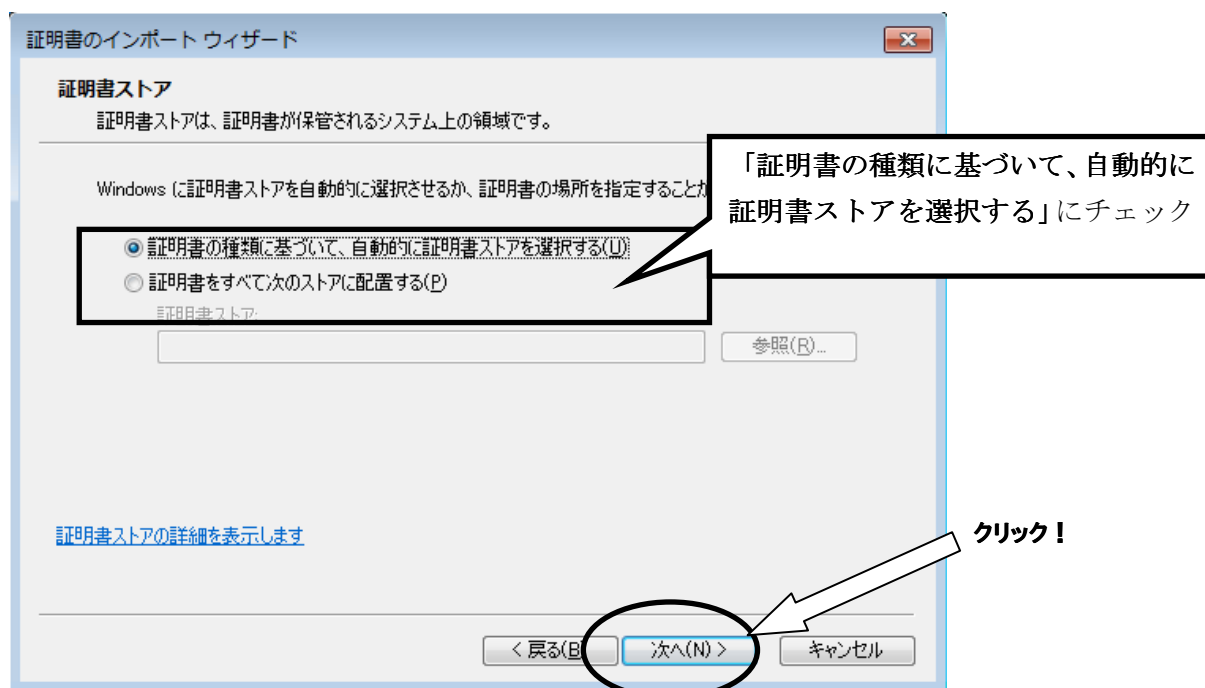
- ④「パスワード」画面で、「証明書パスワード（PINコード）」の葉書（*2）に記載されているパスワードを入力し、チェックボックスは「すべての拡張プロパティを含める」のみチェックされていることを確認し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



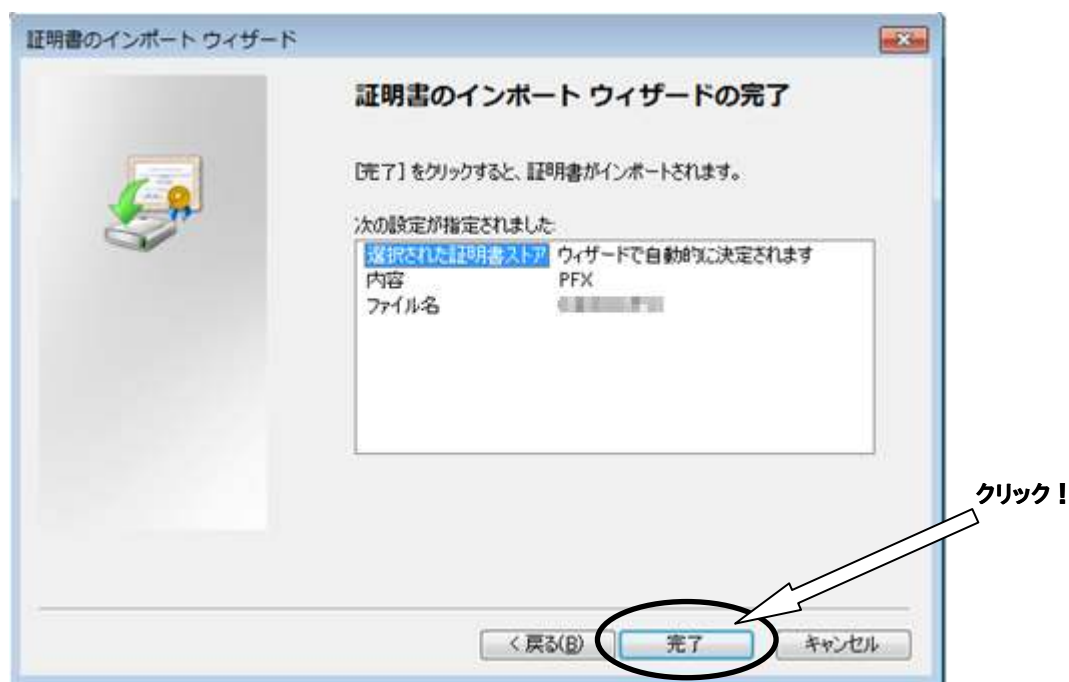
★注意★

- ・パスワードは「大文字」「小文字」を区別しています。葉書に表記されている通りに入力を行ってください。
- ・パスワードを打つと全ての文字が「●」で表示されますので、お間違えの無いように入力を行ってください。

- ⑤ <証明書ストア>画面では、「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選択し、『次へ(N)』ボタンをクリックします。



- ⑥ <証明書インポート ウィザードの完了>画面では、『完了』をクリックします。

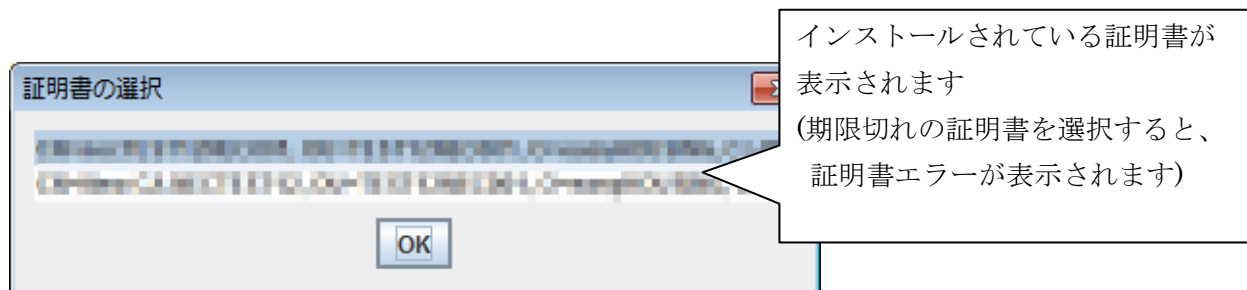


★注意★

電子証明書の保管庫は Windows の証明書ストア“個人”になるので、発注/請負を行うには、電子証明書をインストールした際のユーザーアカウントで Windows にログインしておく必要があります。

3.2 電子証明書の削除

easyHousing の証明書が複数インストールされている場合、easyHousing を利用中に以下のような画面が表示される場合があります。

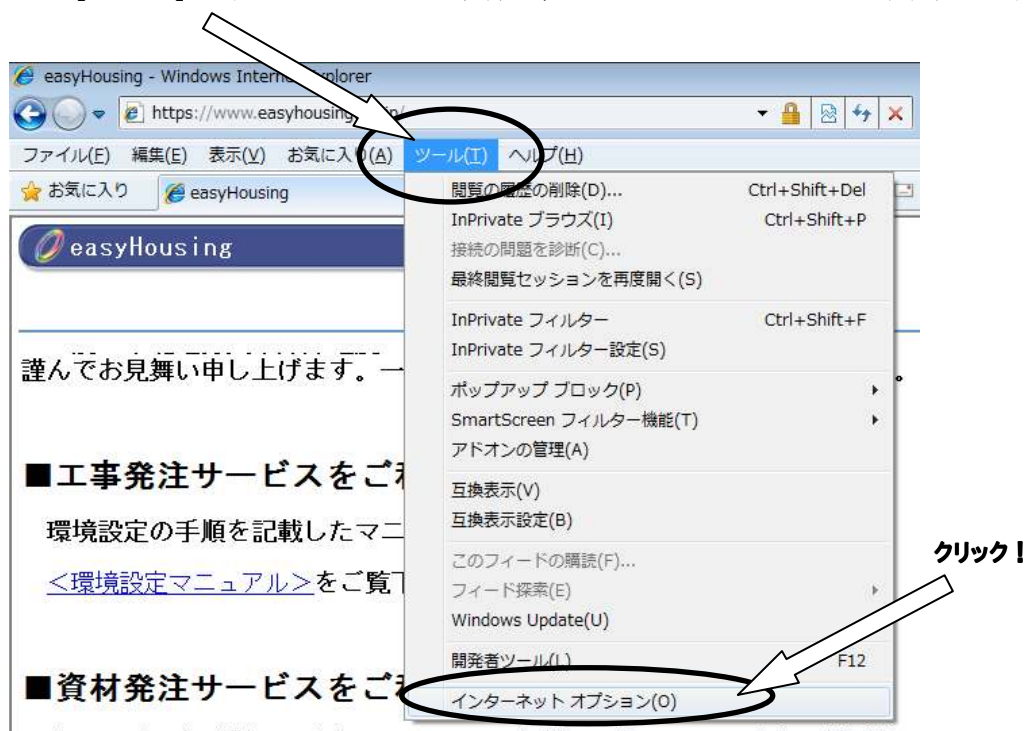


証明書更新後に残る古い証明書など、不要な証明書は削除をお願い致します。
削除の手順は以下になります。

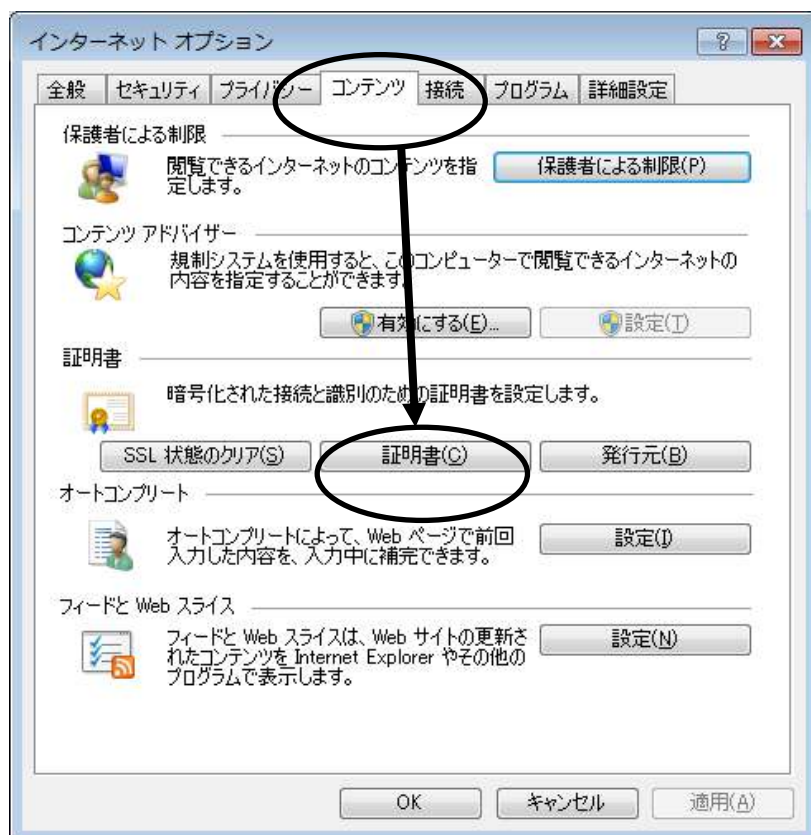
①Internet Explorer を起動します。

②メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

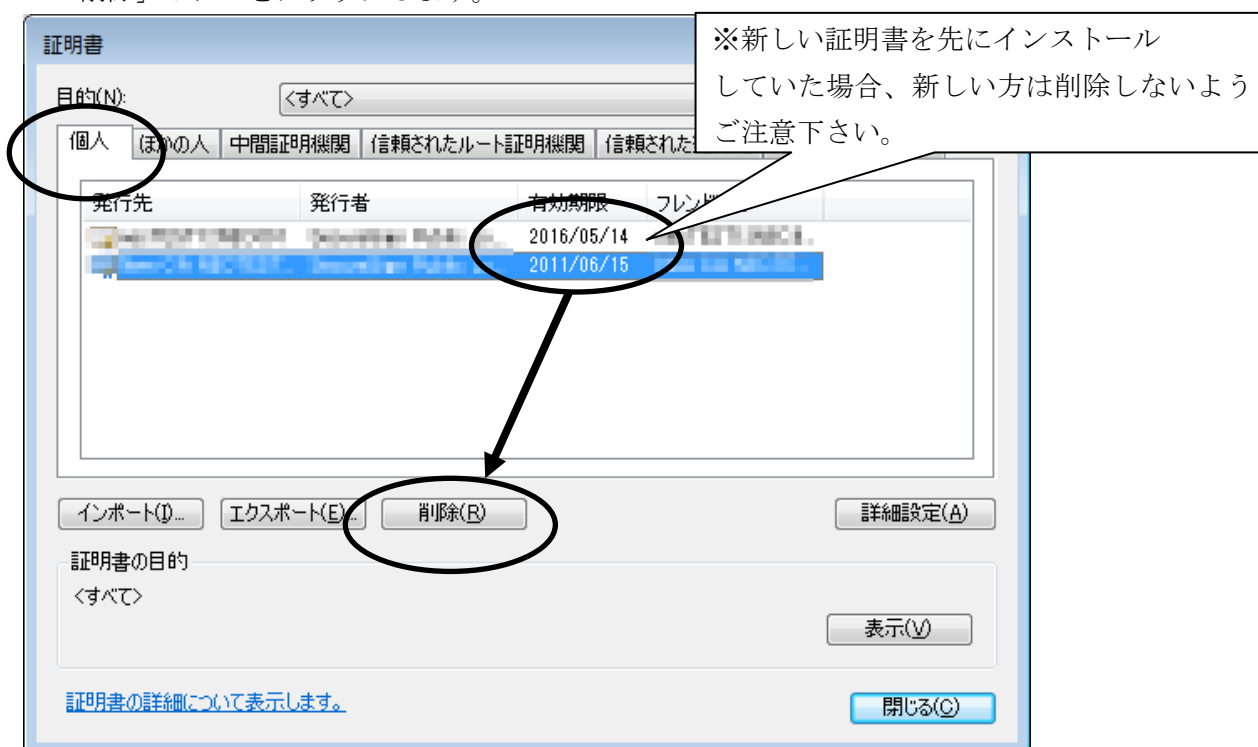
(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)



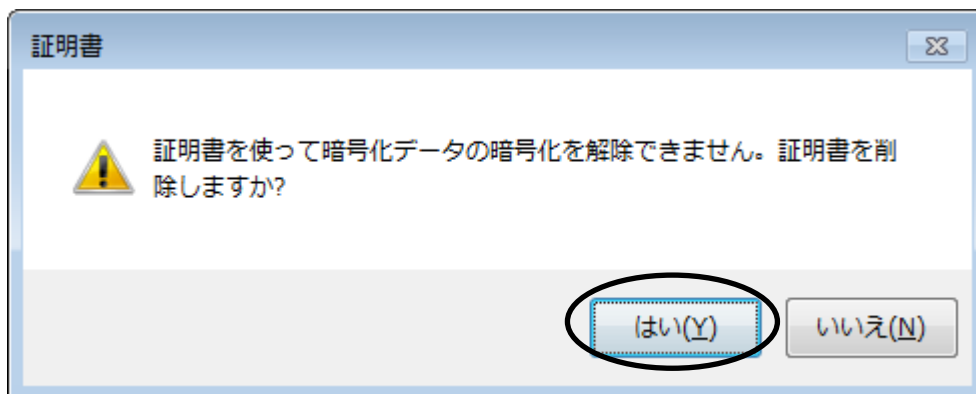
③ 「コンテンツ」タブ、「証明書」ボタンの順にクリックしてください。



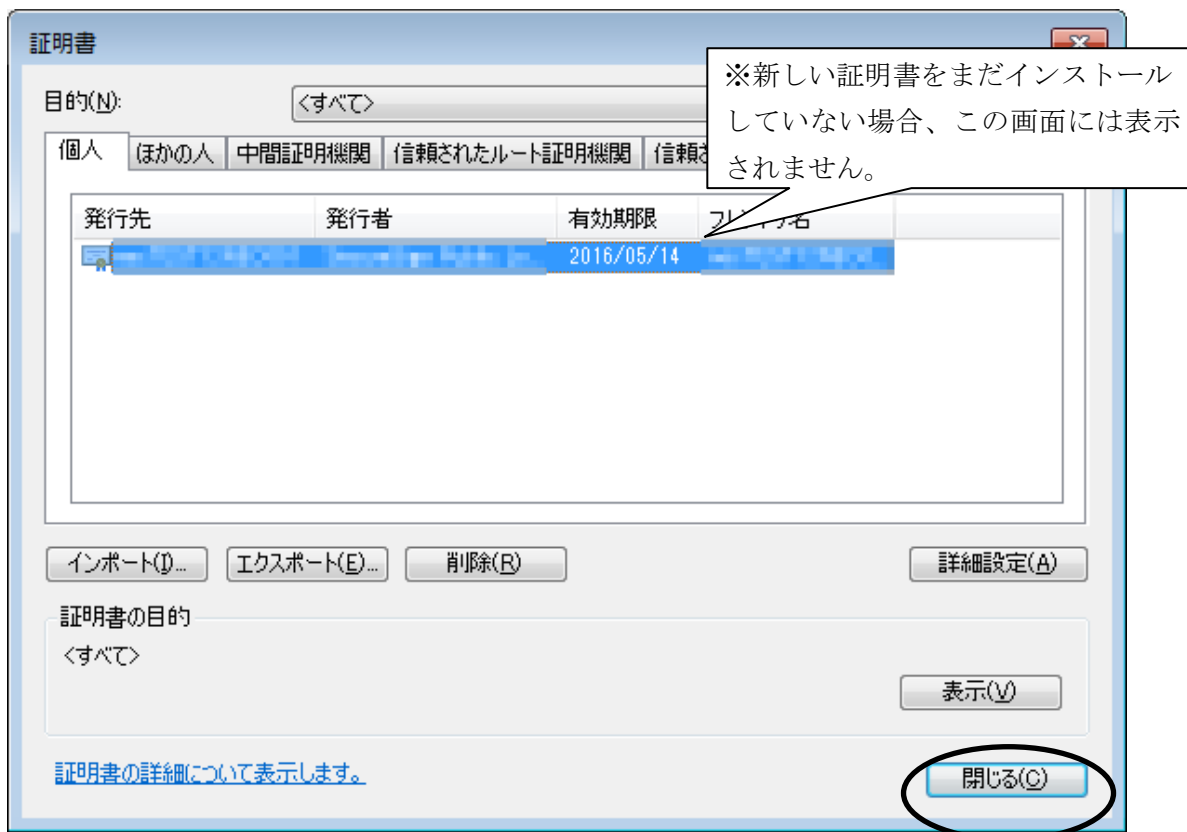
④ 「個人」タブで easyHousing の古い証明書をクリックした後、「削除」ボタンをクリックします。



⑤警告画面では、「はい」をクリックして削除します。



⑥証明書画面に戻った後、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑦<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、削除は終了です。

4 インターネットエクスプローラ

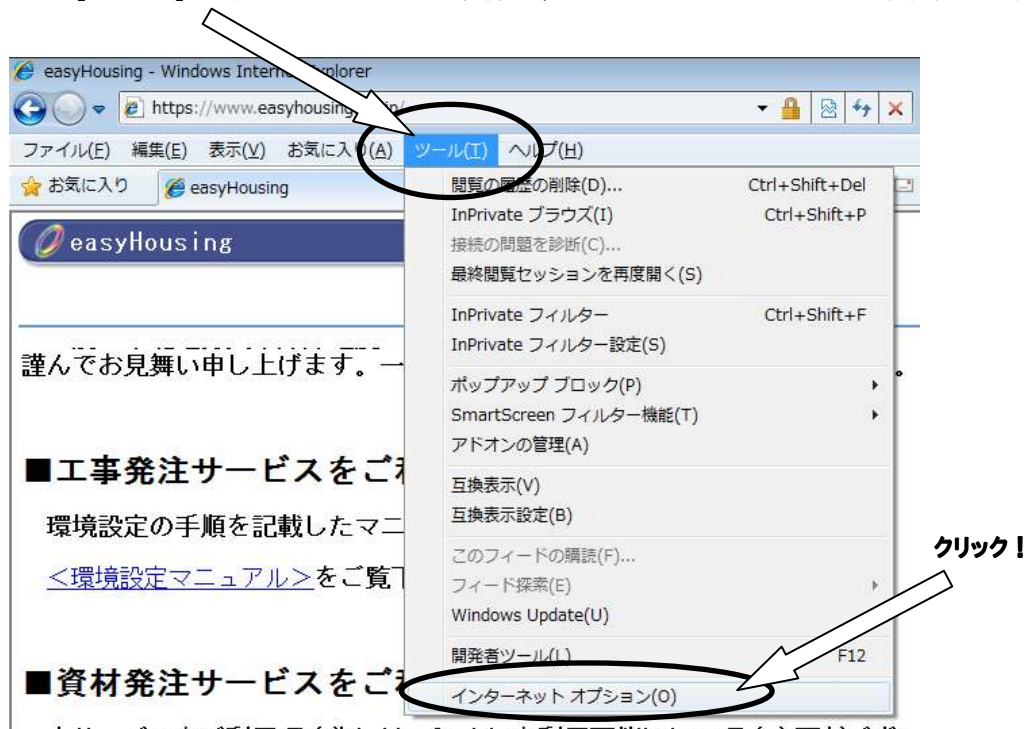
本サービスでは以下の設定を推奨しますが、セキュリティレベルの変更は、お客様のご判断のもとに自己責任で行ってください。

このマニュアルでは、Internet Explorer 7、Internet Explorer 8、Internet Explorer 9 について説明しています。

4.1 Internet Explorer の設定

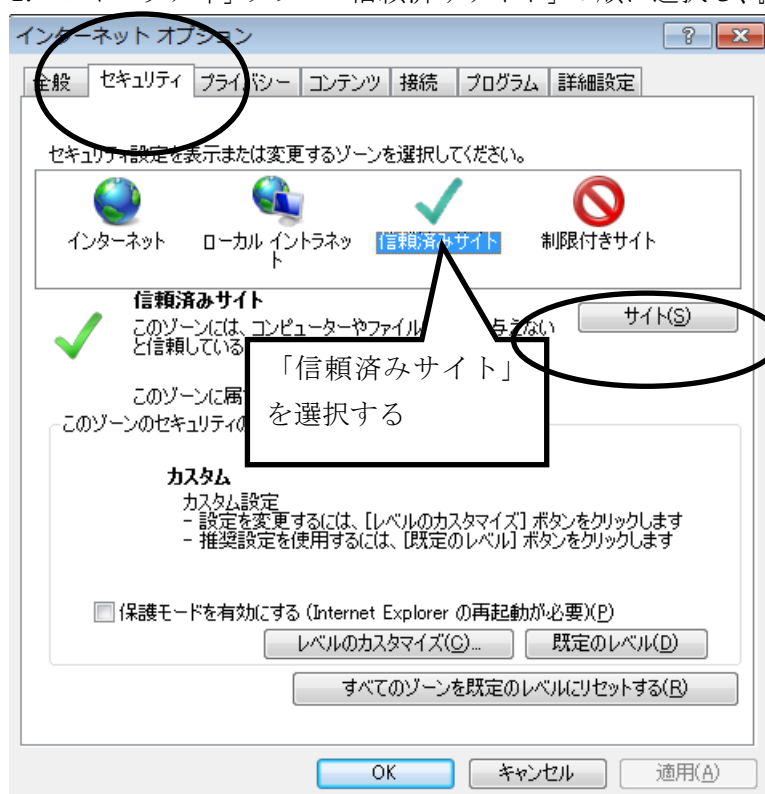
①メニューバーの【ツール】－【インターネットオプション】を開きます。

(【ツール】が表示されていない場合は、キーボードの Alt キーを押下すると表示されます)

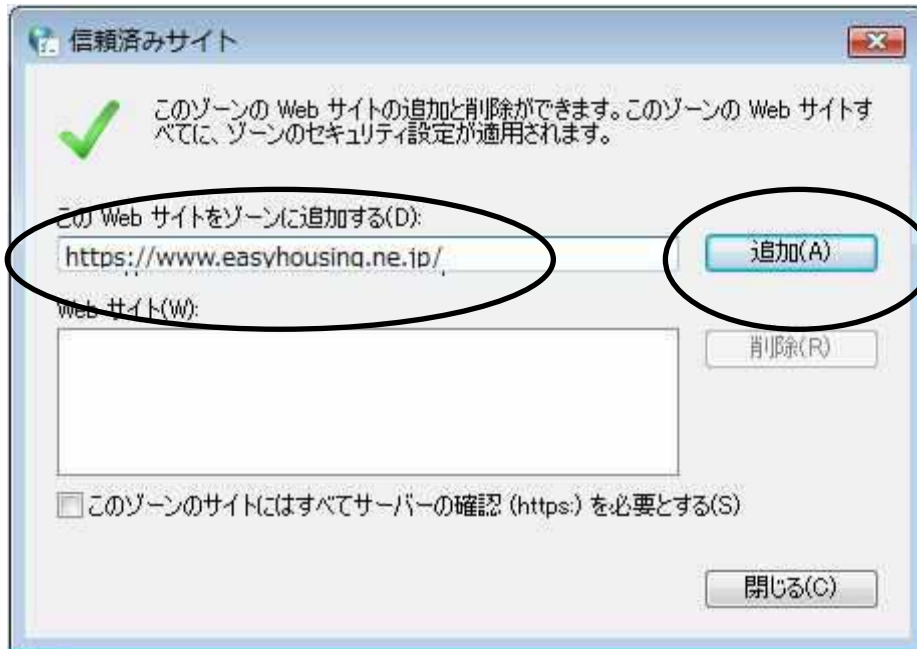


②信頼済みサイトの設定をします。

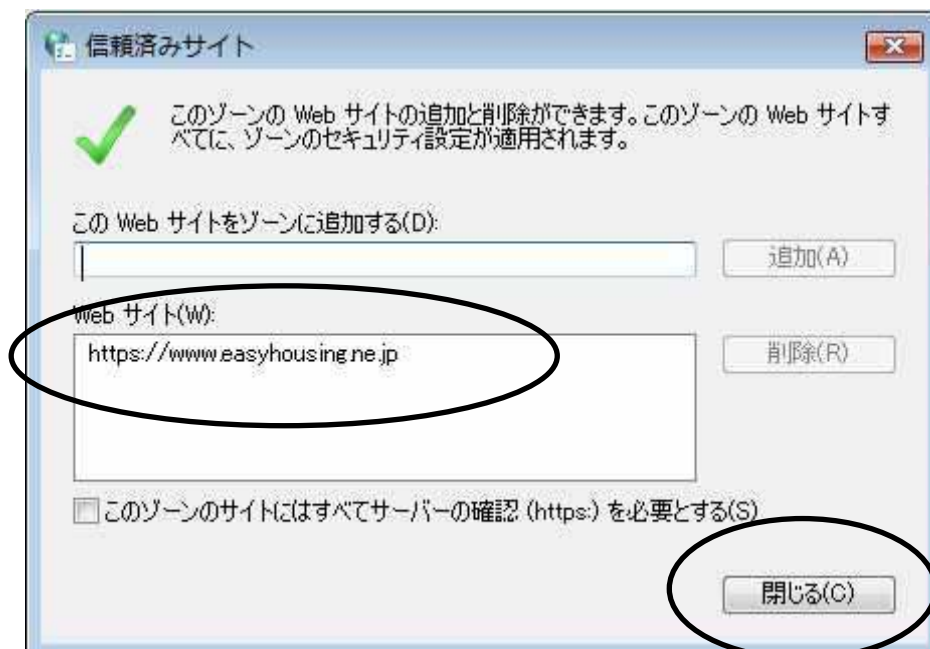
1. 「セキュリティ」タブ→「信頼済みサイト」の順に選択し、『サイト』ボタンをクリックして下さい。



2.信頼済みサイトの設定画面が表示されるので、「この Web サイトをゾーンに追加する」に「https://www.easyhousing.ne.jp/」と入力し、「追加」ボタンを押下してください。

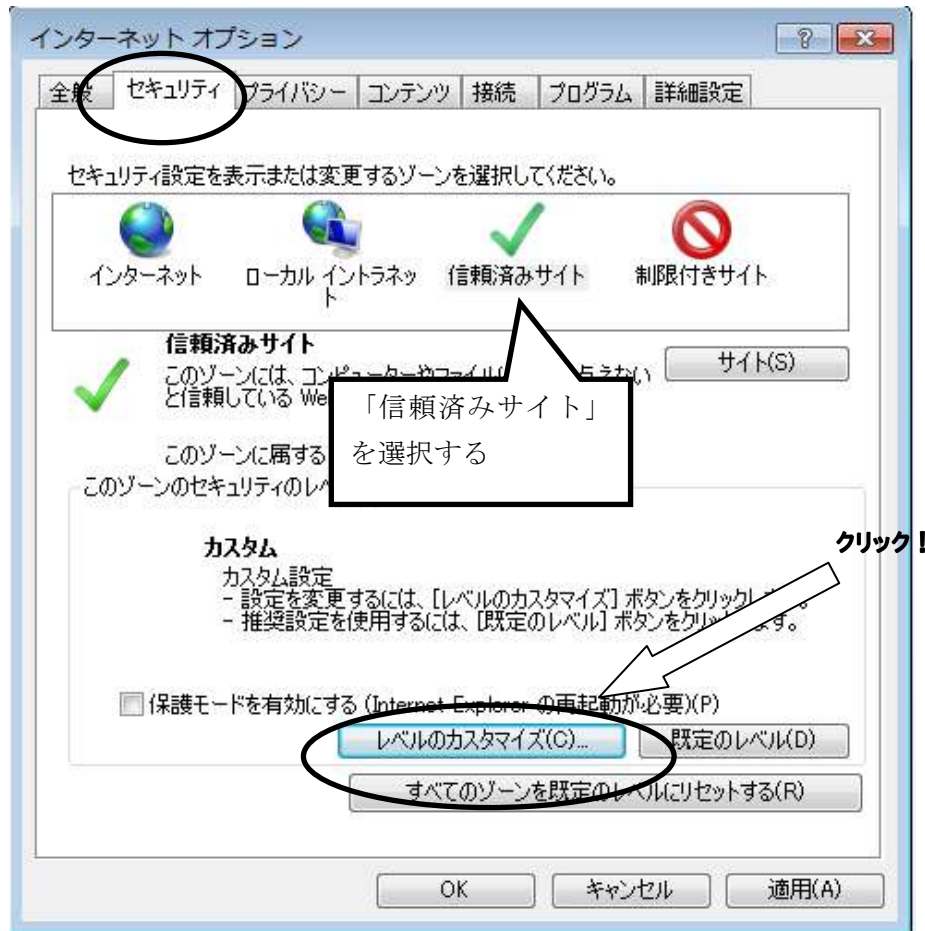


3. 「Web サイト」に「https://www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンを押下してください



③<インターネットオプション>画面で、[セキュリティ] タブを選択します。

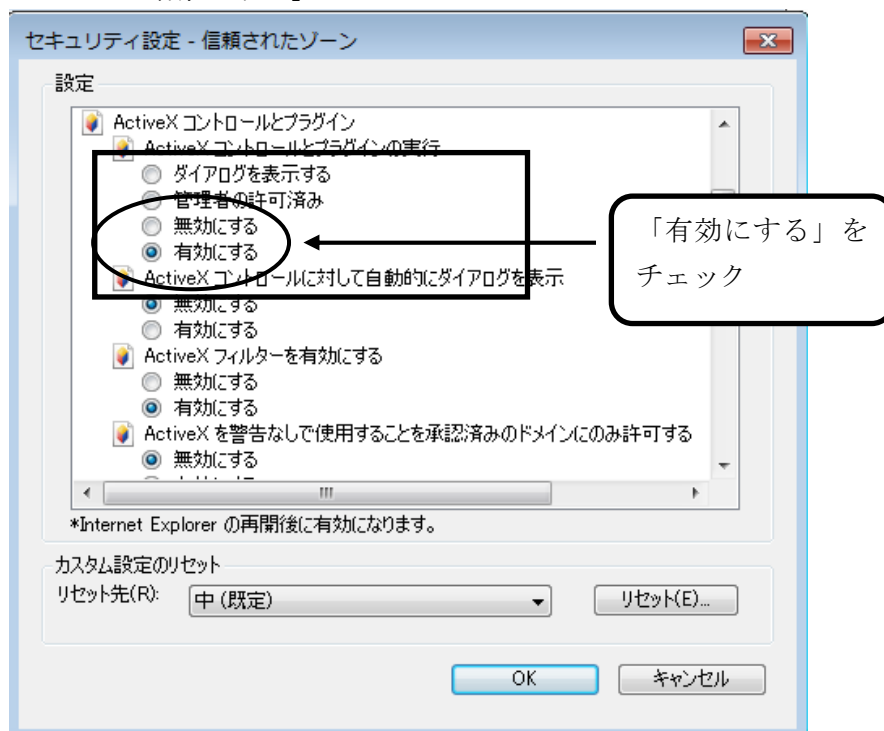
「信頼済みサイト」を選択し、『レベルのカスタマイズ』ボタンをクリックして下さい。



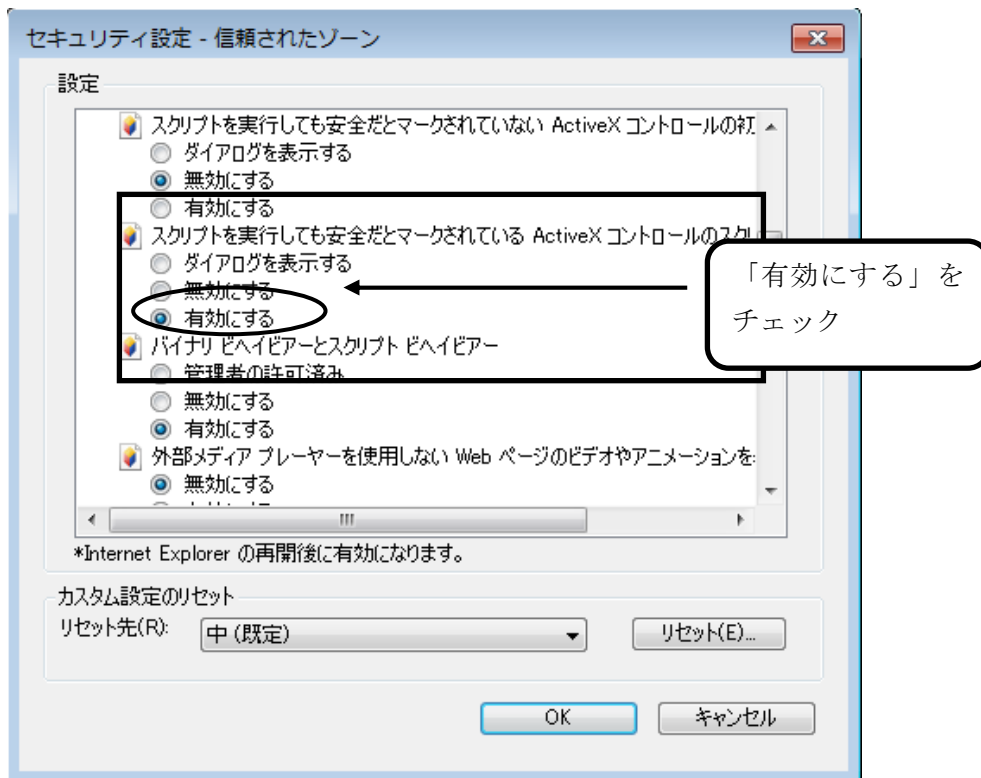
④<セキュリティの設定>画面が表示されます。

●ActiveX コントロールとプラグインの実行

→「有効にする」にチェックします。



- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行
→「有効にする」にチェックします。



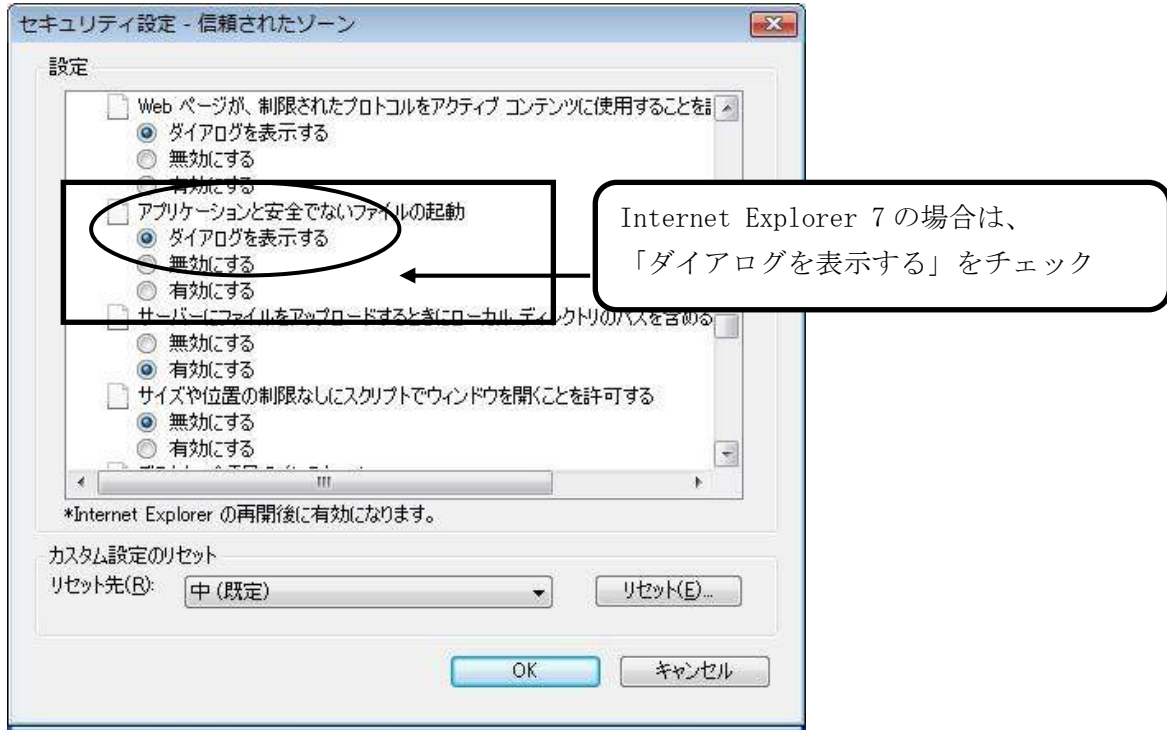
- アクティブスクリプト
→「有効にする」にチェックします。



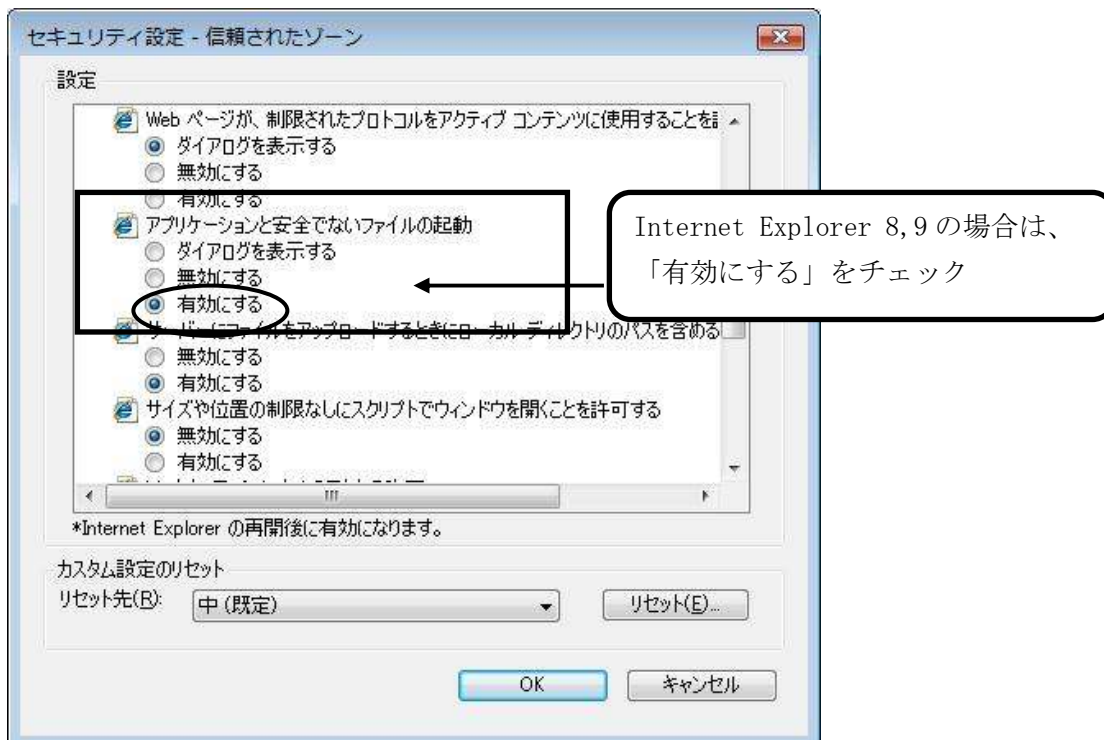
●アプリケーションと安全でないファイルの起動

→Internet Explorer 7 の場合、「ダイアログを表示する」にチェックします。

(Internet Explorer 8,9 の場合、「有効にする」にチェックします)

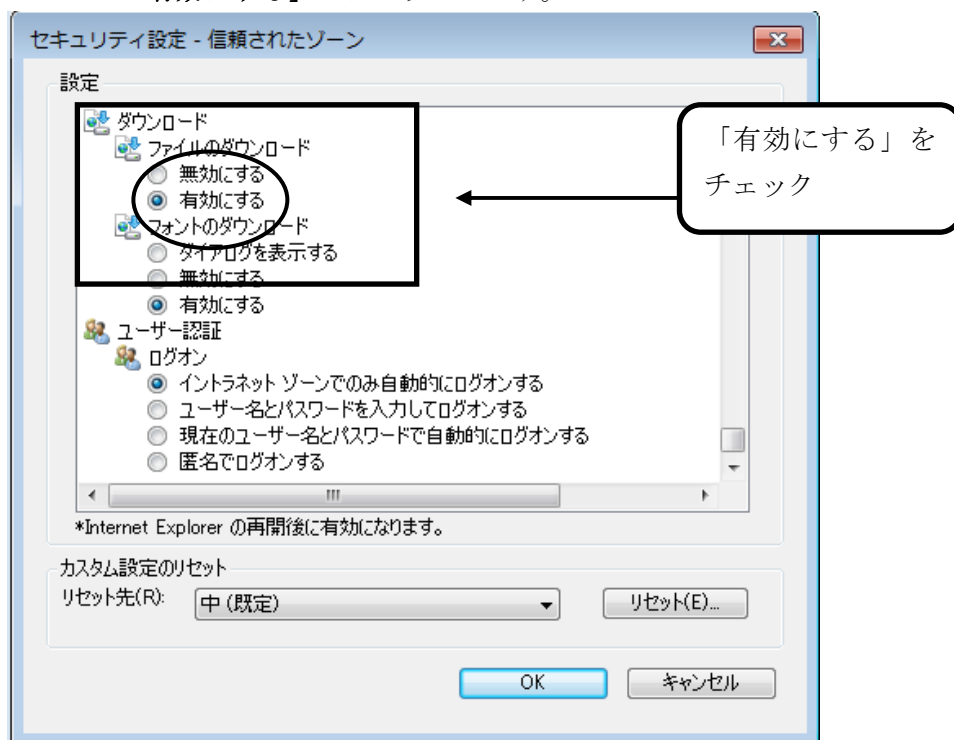


(Internet Explorer 8,9 の場合)



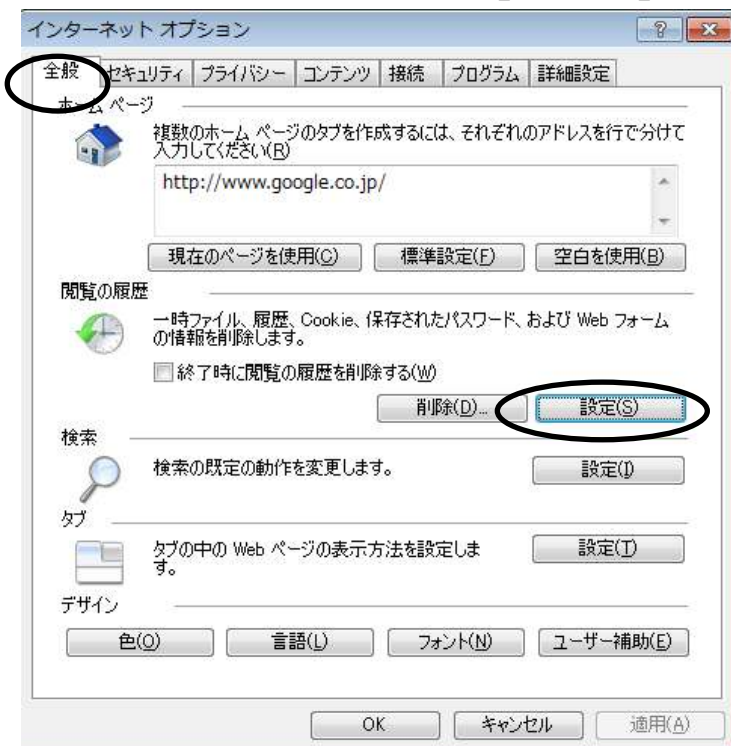
●ファイルのダウンロード

→「有効にする」にチェックします。



⑤『OK』ボタンをクリックし、＜インターネットオプション＞画面に戻ります。

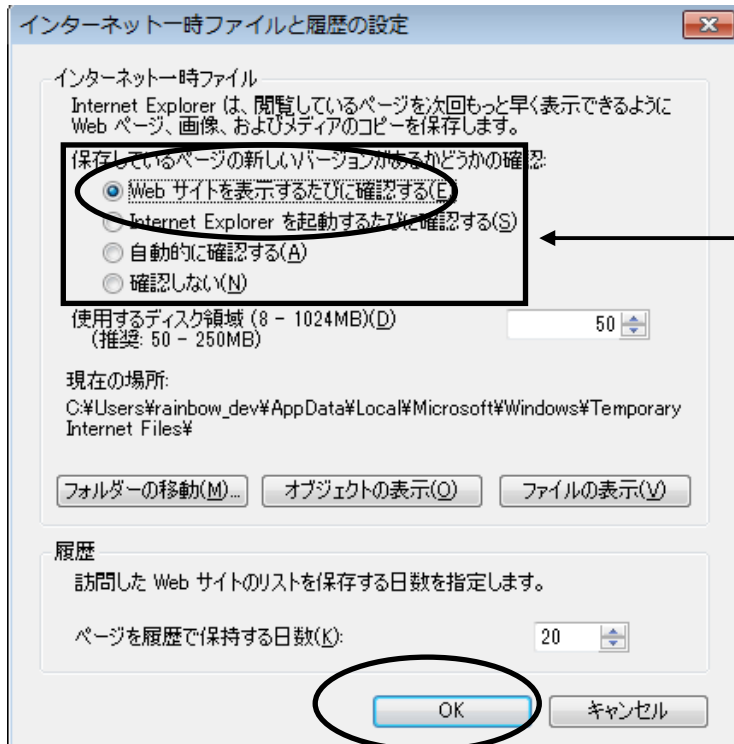
⑥〔全般〕タブを選択し、『閲覧の履歴』の『設定』ボタンをクリックしてください。



⑦ 「インターネット一時ファイルと履歴の設定」

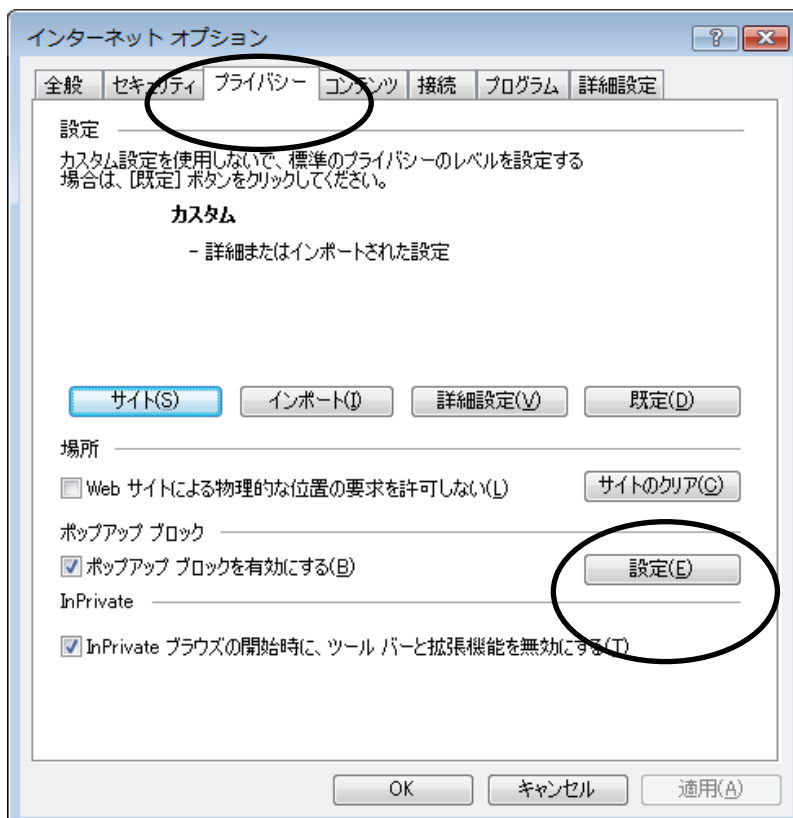
●保存しているページの新しいバージョンの確認

→ 「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェックし、OK ボタンをクリックします。

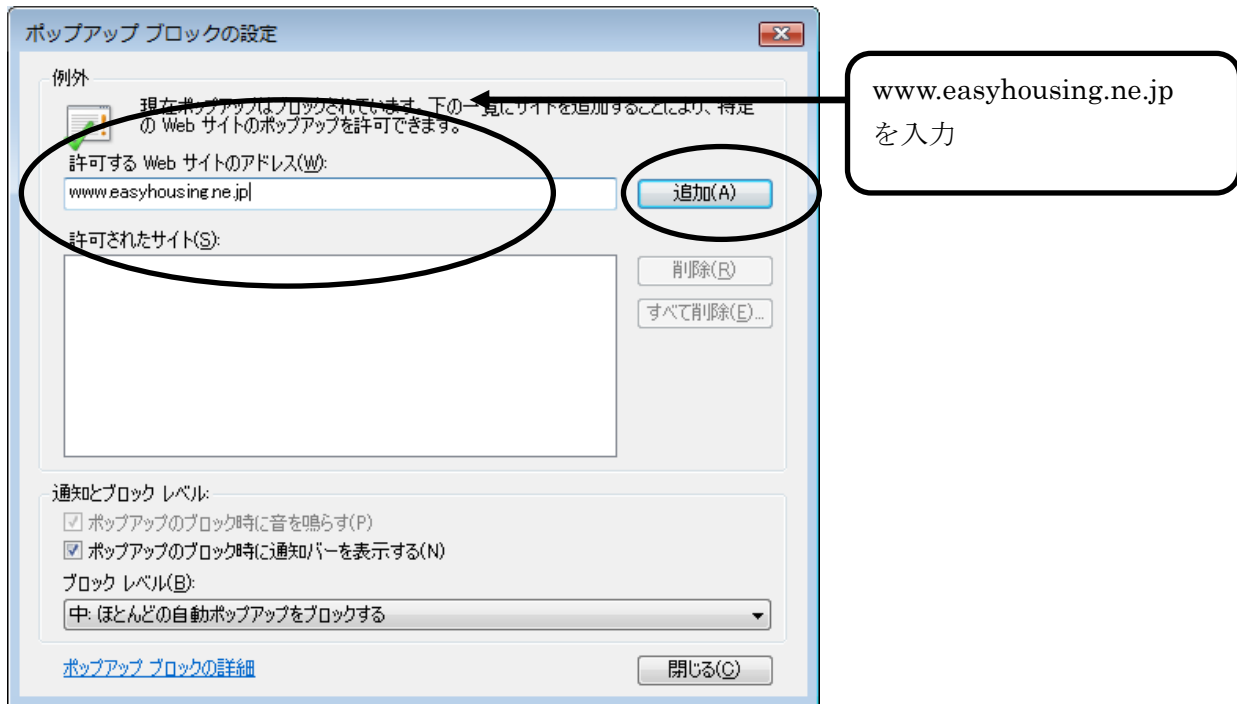


「Web サイトを表示するたびに確認する」にチェック

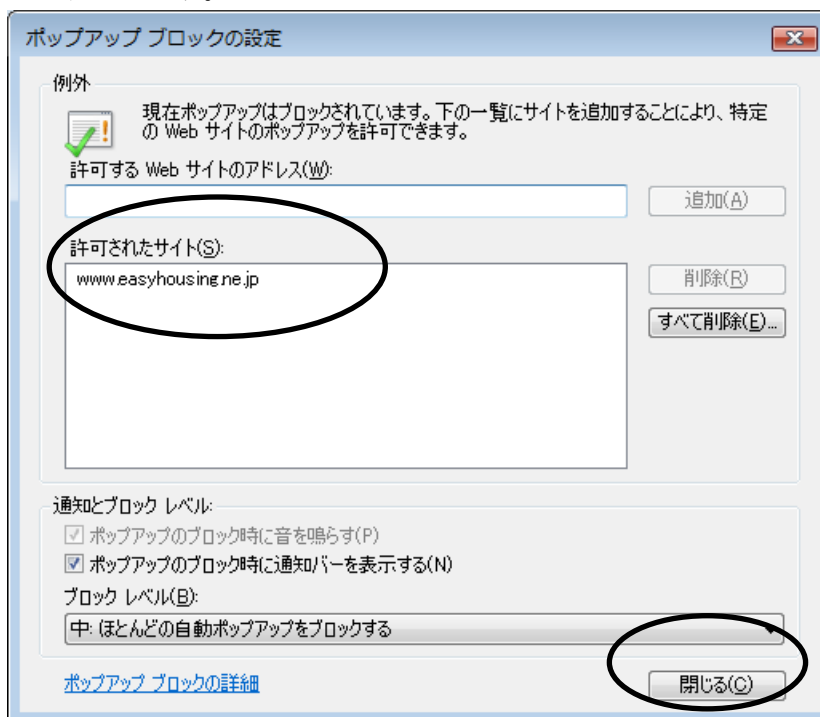
⑧ [プライバシー] タブを選択し、「ポップアップブロック」の「設定」ボタンをクリックしてください。



「許可する Web サイトのアドレス」に、「www.easyhousing.ne.jp」を入力し、「追加」ボタンをクリックします。



「許可されたサイト」に「www.easyhousing.ne.jp」が追加されたことを確認し、「閉じる」ボタンをクリックします。



⑨<インターネットオプション>画面に戻ったら、『OK』ボタンクリックで画面を閉じ、設定は終了です。

5 必要ソフトウェアのセットアップ

インストール作業を開始する前に、インストール操作での留意点は以下の通りです。

- (1) すべてのアプリケーションを終了してください
- (2) インストール中にリセットボタンや電源スイッチを押さないでください
- (3) 必ず、インストールプログラムを使用してインストールして下さい。

本書の手順以外でインストールした場合、動作の保証はできません。

5.1 JRE のインストール

◆JRE のインストール手順を説明します。

このマニュアルでは、JRE1.7 の場合について説明致します。

※:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が画像と異なる場合があります。

①JRE をダウンロードします。

以下の URL にアクセスします。

<http://www.java.com/ja/download/manual.jsp>

『Windows オフライン』 をクリックします。



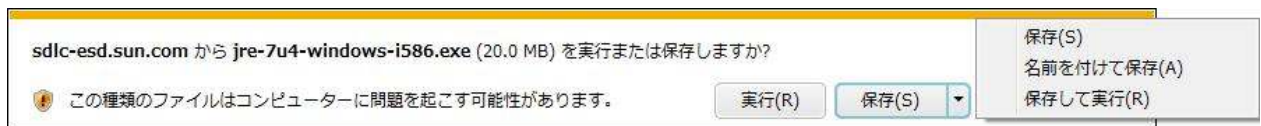
(Internet Explorer 7, 8 の場合)

『保存』を選択し、任意の場所に保存します。



(Internet Explorer 9 の場合)

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」で任意の場所に保存します。



※ダウンロードするファイルは、ダウンロードを行う時点での最新バージョンとなるため、ファイル名が上記画像と異なる場合があります。

②インターネットエクスプローラなどすべてのアプリケーションを閉じます。

JRE のインストール手順は以下を参照してください。

★注意★

インターネットエクスプローラを起動したままインストールした場合、再起動させるまで **JAVA** のインストールが有効になりません。

5.1.1 JRE1.7 のインストール手順

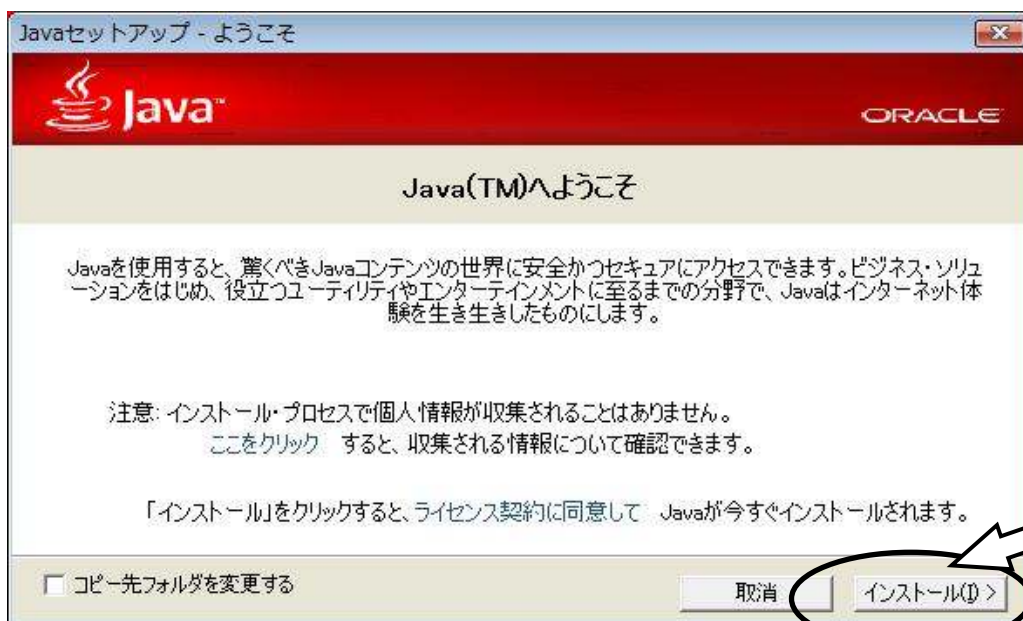
①保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。

ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。



②<Java のセットアップ>画面が表示されます。

ライセンス契約を読み終えたら、「インストール」ボタンをクリックして、次に進みます。



③<セットアップ - 進捗>画面が表示されます。



④<セットアップ - 完了>画面が表示されます。

『閉じる』ボタンをクリックします。



5.2 easyHousing 電子署名ライブラリのインストール

インストール手順

◆easyHousing 電子署名ライブラリのインストール手順を説明します。

- ① インターネットエクスプローラを立ち上げアドレスバーに easyHousing のURLを入力します。

<easyHousing URL>
<https://www.easyhousing.ne.jp/>



- ②Enterキーを押下するとお知らせ画面が表示され、15秒経過するとログイン画面が表示されます。

※お知らせ画面は閉じないで下さい

ログイン画面では「企業管理コード（12桁）」と「ユーザーID」「パスワード」を入力することにより認証を行います。

企業コード、ログインID、パスワードを入力し、ログインします。



※ログイン画面と同時に、以下のような画面が開きます。



これは発注/請負処理高速化のための画面となります。

読み込み終了後は自動的に閉じられますので、×ボタンで閉じないようにしてください。

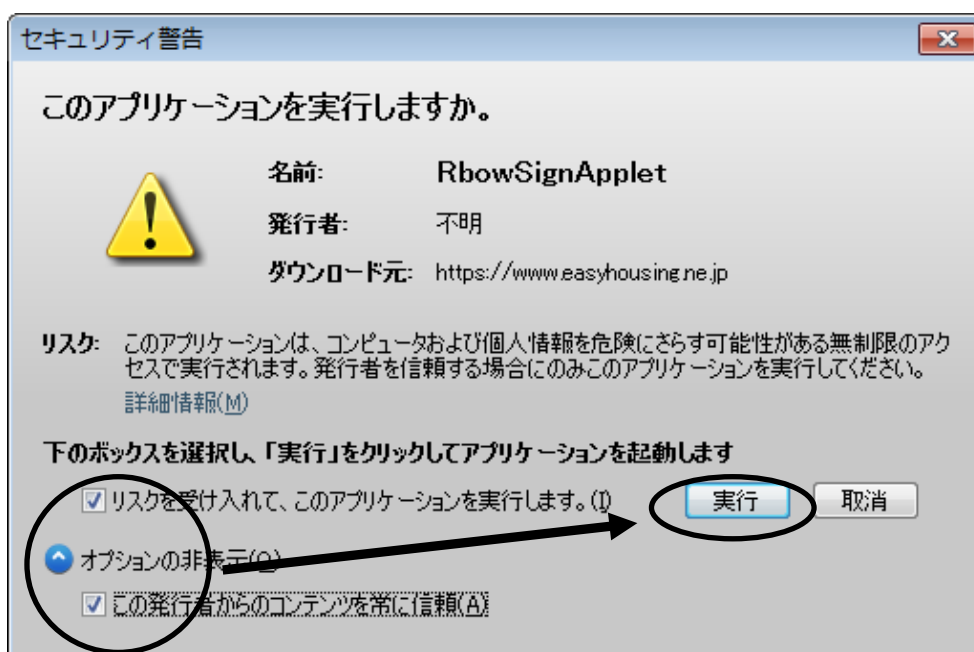
なお、読み込み処理中もログインなどの操作は可能です。

★初回接続時は、以下のような警告メッセージが表示されます。

この場合、次の手順で実行するようにして下さい。

- ①『リスクを受け入れて、このアプリケーションを実行します。』をチェックします。
- ②『オプションの表示』をクリックします。
- ③『この発行者からのコンテンツを常に信頼』をチェックします。
- ④『実行』ボタンをクリックします。

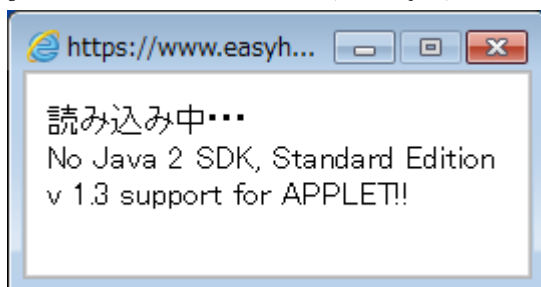
※Java のバージョンによっては画面が異なり、①・②のボタンが表示されない場合があります。その場合、③から行って下さい。



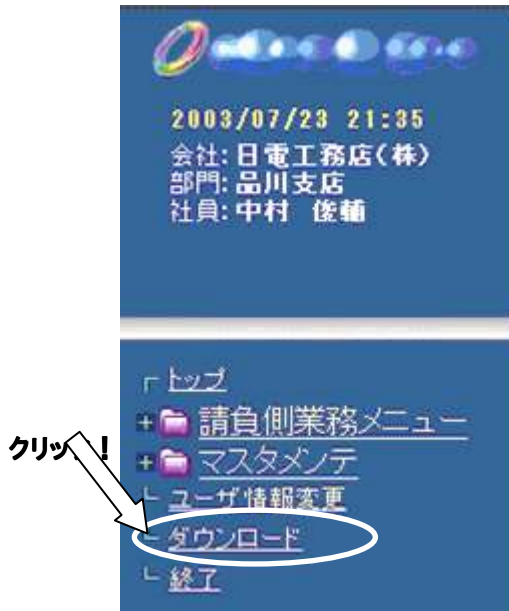
Java がインストールされていない場合

以下のようなメッセージが表示された場合は、×ボタンで画面を閉じ

Java をインストールして下さい。(20 ページ 『5.1 JRE のインストール』を参照して下さい)



③メニューから【ダウンロード】を選んでください。



④＜ダウンロード＞画面が表示されます。

「電子署名ライブラリセットアップファイル」右の「download」という文字をクリックします。



工事発注請負サービス

- 電子署名ライブラリセットアップファイル
- クライアントチェックツール

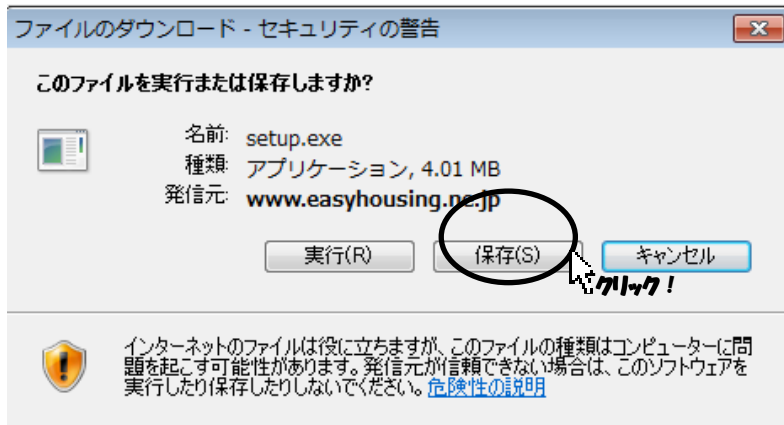
※WindowsXP、Vista、7対応



⑤<ファイルのダウンロード>画面が表示されます。

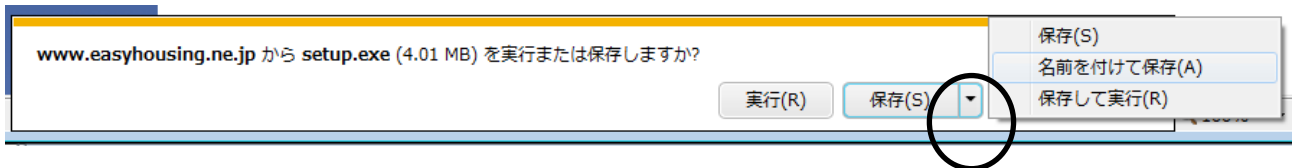
(Internet Explorer 7, 8 の場合)

『保存』ボタンをクリックしてください。

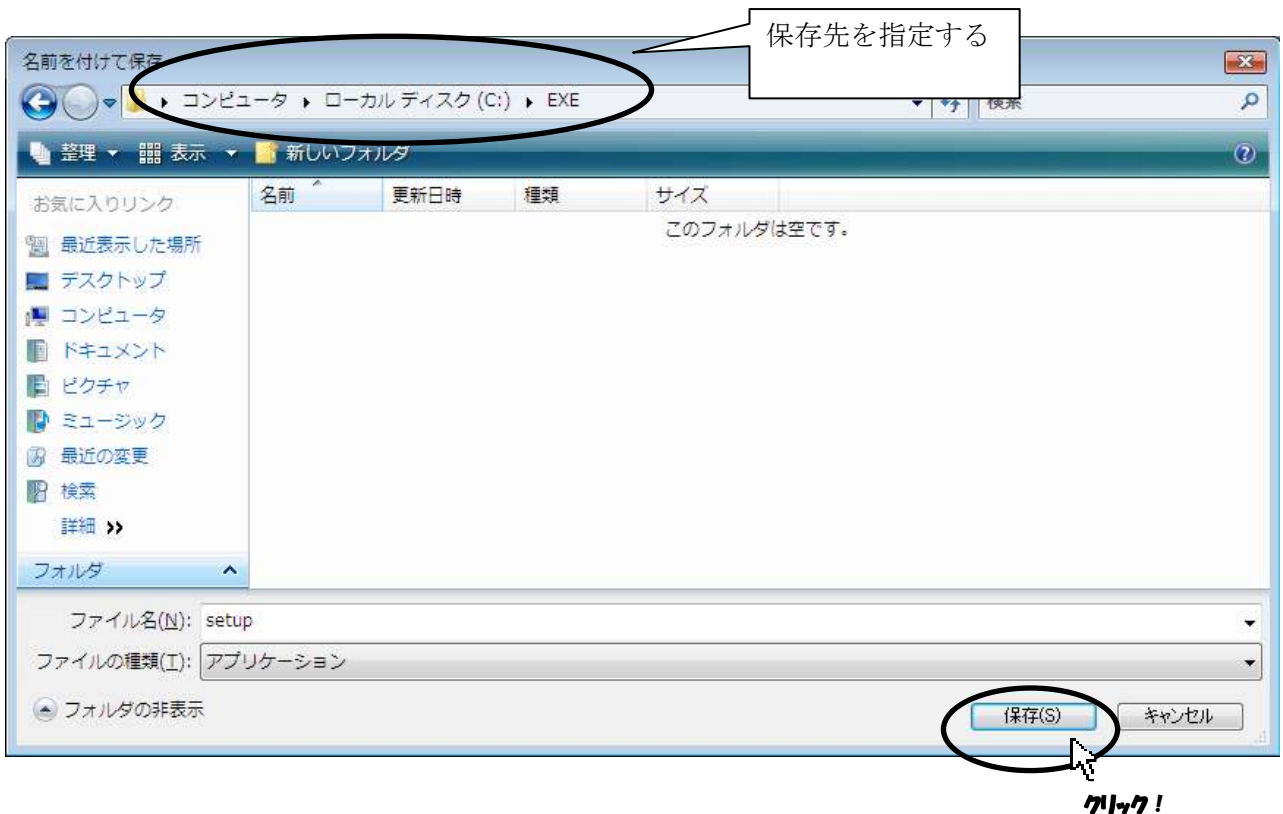


(Internet Explorer 9 の場合)

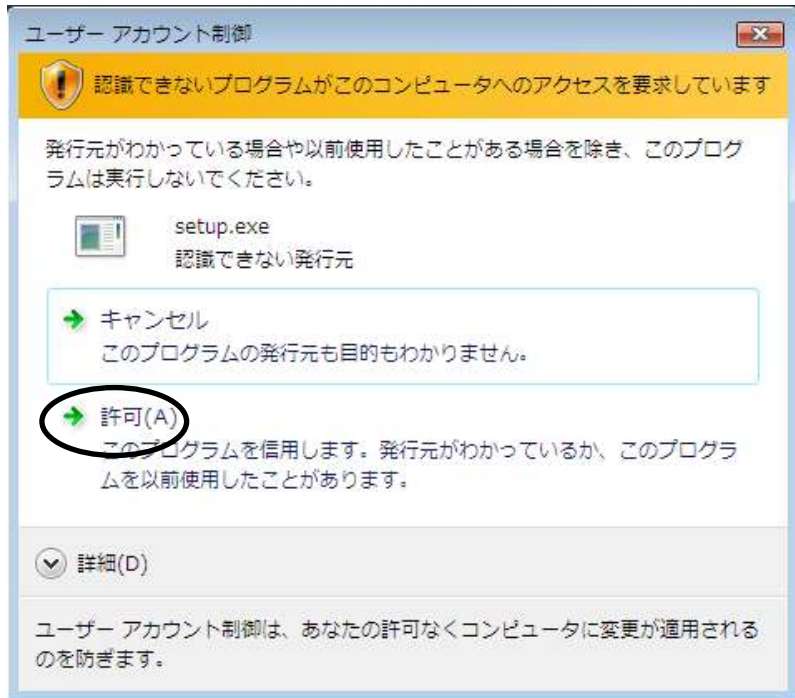
「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」をクリックしてください。



⑥<名前をつけて保存>画面が表示されます。任意のフォルダへ保存してください。



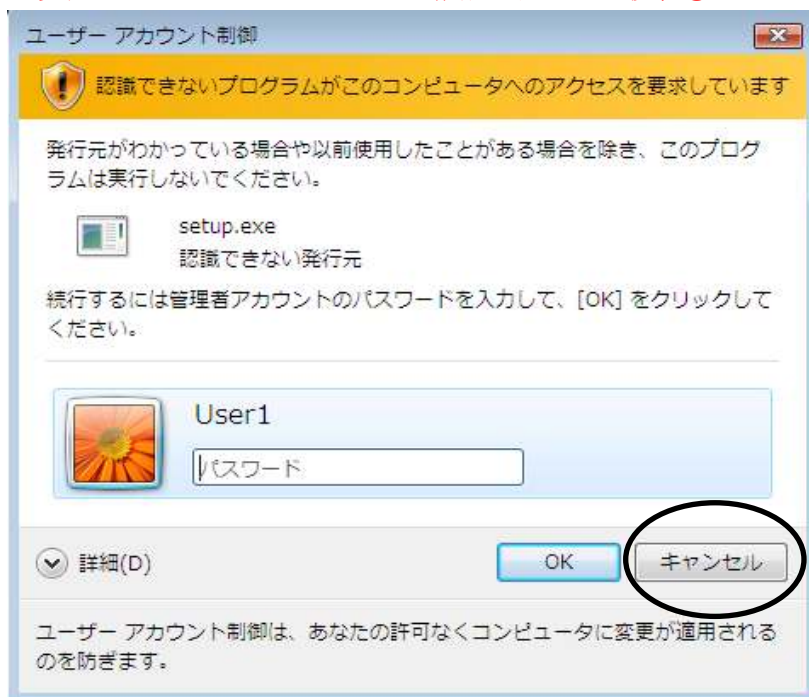
- ⑦保存したファイル「setup.exe」をダブルクリックし、セットアップを開始します。
以下の画面が表示された場合は、「許可」をクリックします。



(パスワードの入力欄が表示された場合)

ここでパスワードを入力し続行しても、管理者ユーザに設定が行われるため、現在のユーザには設定できません。

「キャンセル」を選択し、37 ページ『(補足) Administrator 権限の追加・削除手順』に従って現在のユーザに Administrator 権限を付加した後、⑦からやり直して下さい。

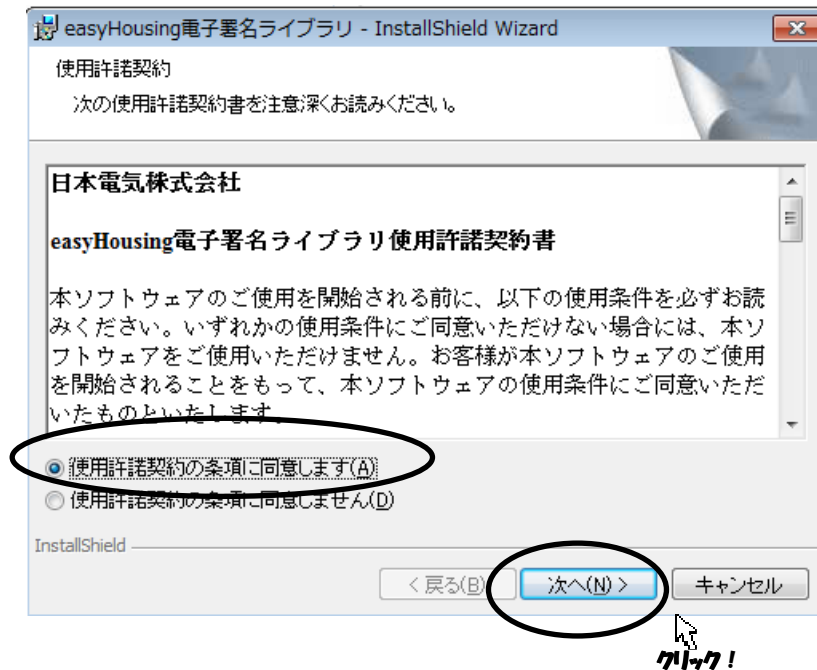


⑧InstallShield Wizard が起動します。

●初めて電子署名ライブラリをインストールする場合、＜使用許諾契約＞の画面が表示されます。

内容をご確認のうえ、

「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

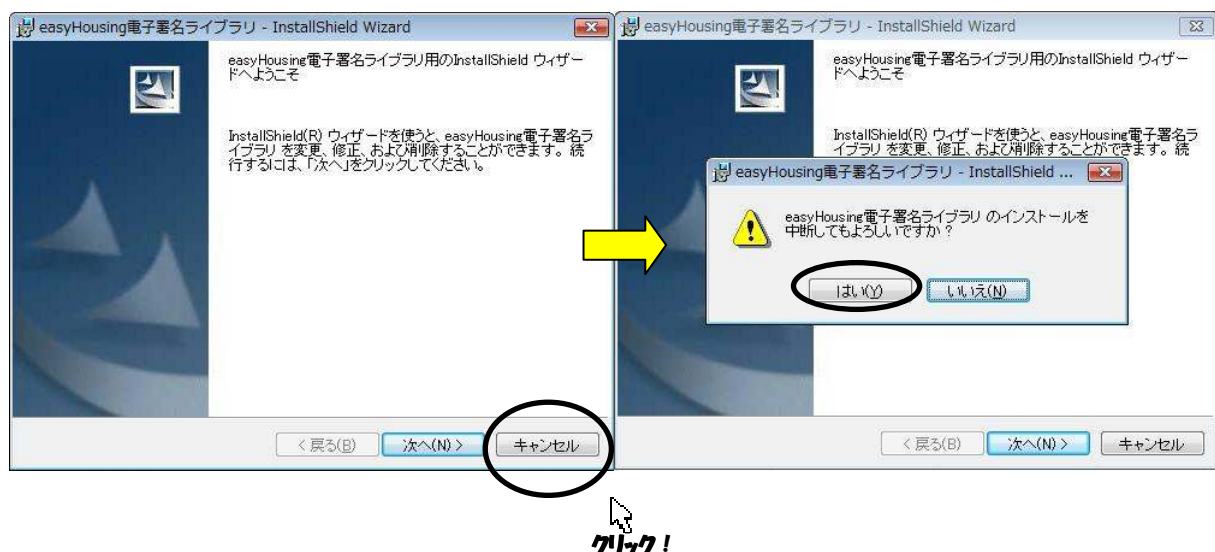


手順⑨へ進んでください。

●既に電子署名ライブラリがインストール済みの場合、＜InstallShield ウィザードへようこそ＞の画面が表示されます。

「キャンセル」ボタンをクリックし、「インストール中断確認」ダイアログが表示されたら『はい』を選択しインストールを中断します。

（電子署名ライブラリを再インストールする場合は、アンインストール後、手順⑦からインストールをやり直してください）



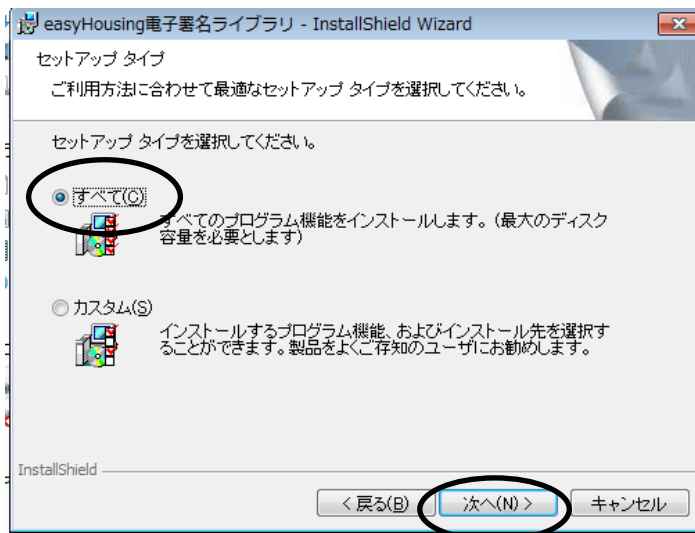
⑨<セットアップタイプ>の画面が表示されます。

セットアップタイプ「すべて」（通常）か、「カスタム」を選択したら『次へ』ボタンをクリックします。

- 通常は「すべて」を選択します。その場合インストール先はデフォルトで

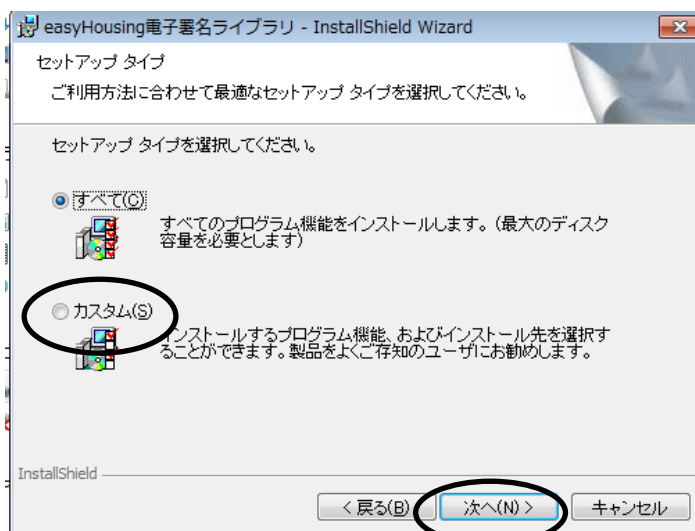
“C:\Program Files\NEC\jasp” となります。

⇒「すべて」を選択した場合、手順⑩⑪⑫をとばして⑬へ進みます。



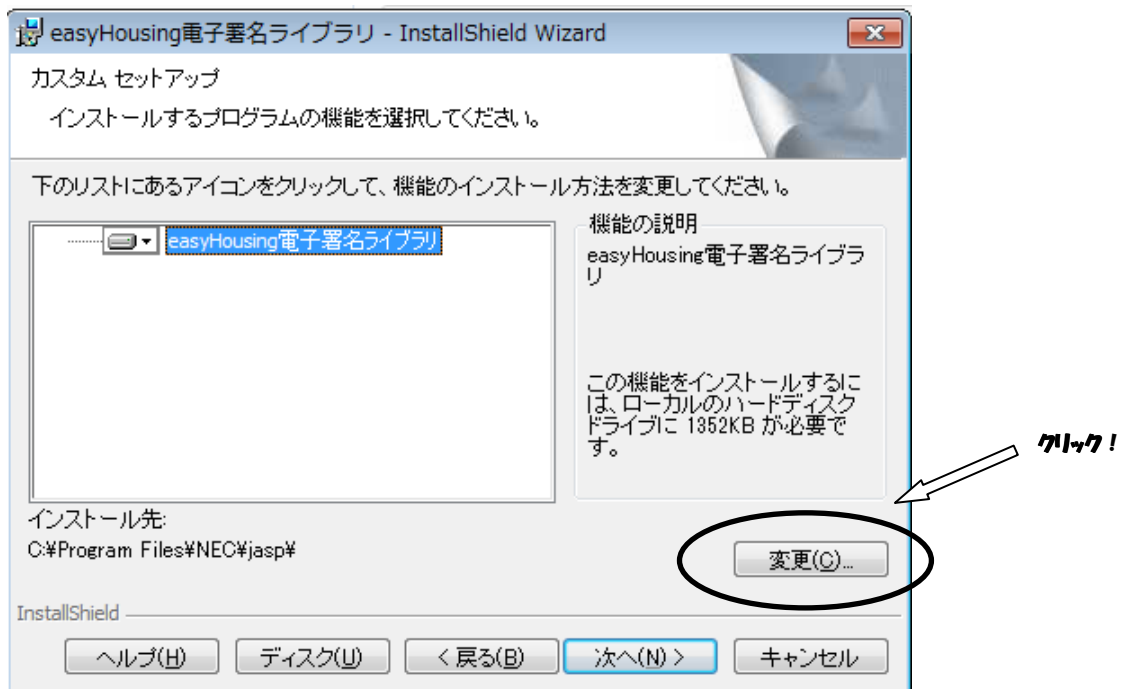
手順⑬へ進んでください。

- 「カスタム」を選択した場合、インストール先のフォルダをデフォルト以外に指定することができます。

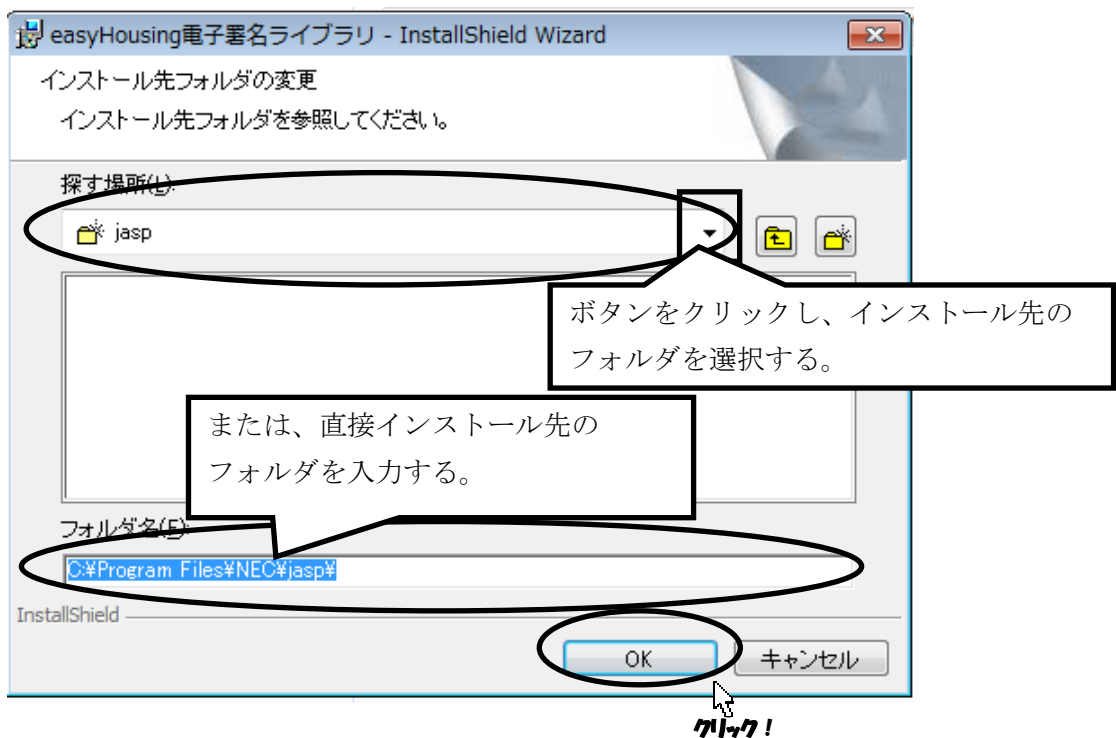


手順⑩へ進んでください。

- ⑩<カスタムセットアップ>画面が表示されます。(手順⑨で「カスタム」を選択した場合)
『変更』ボタンをクリックします。

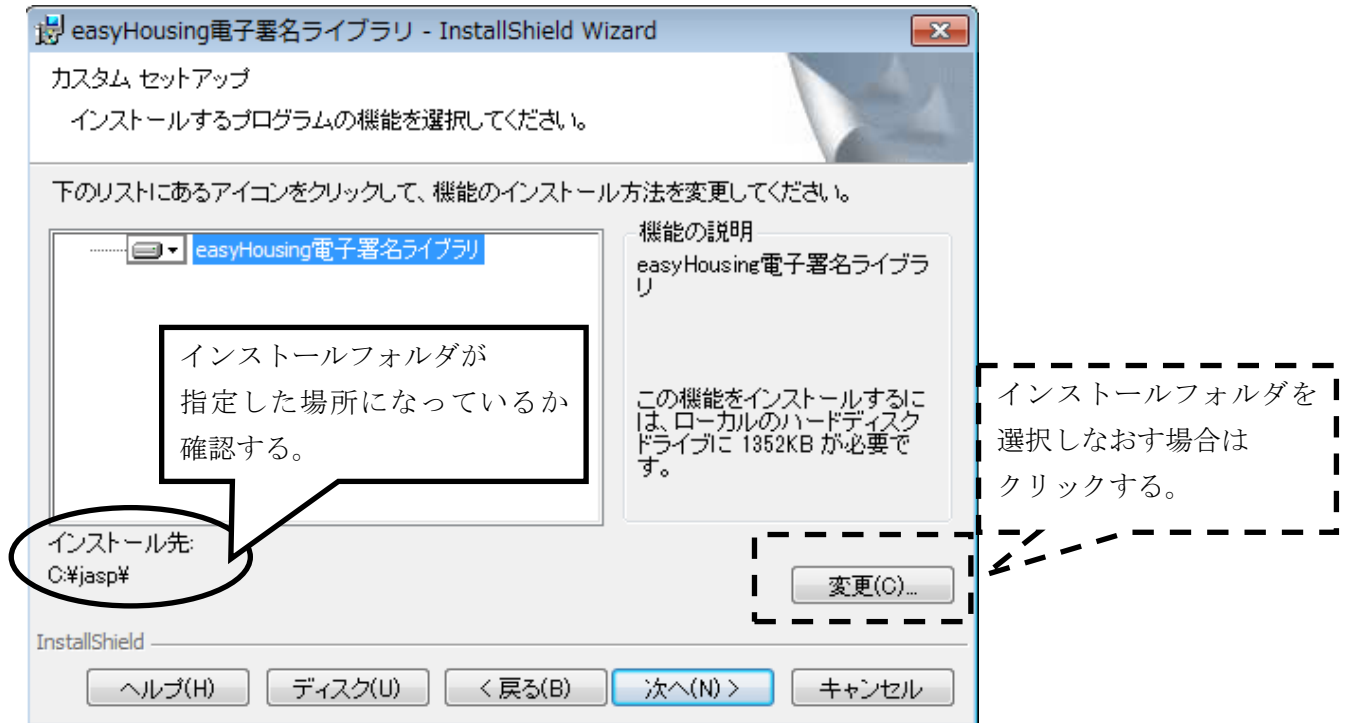


- ⑪<インストール先フォルダの変更>画面が表示されます。
「探す場所」プルダウンメニューからインストールフォルダを指定するか、または
「フォルダ名」 の枠内に直接インストールフォルダの場所を入力し『OK』ボタンを
クリックします。



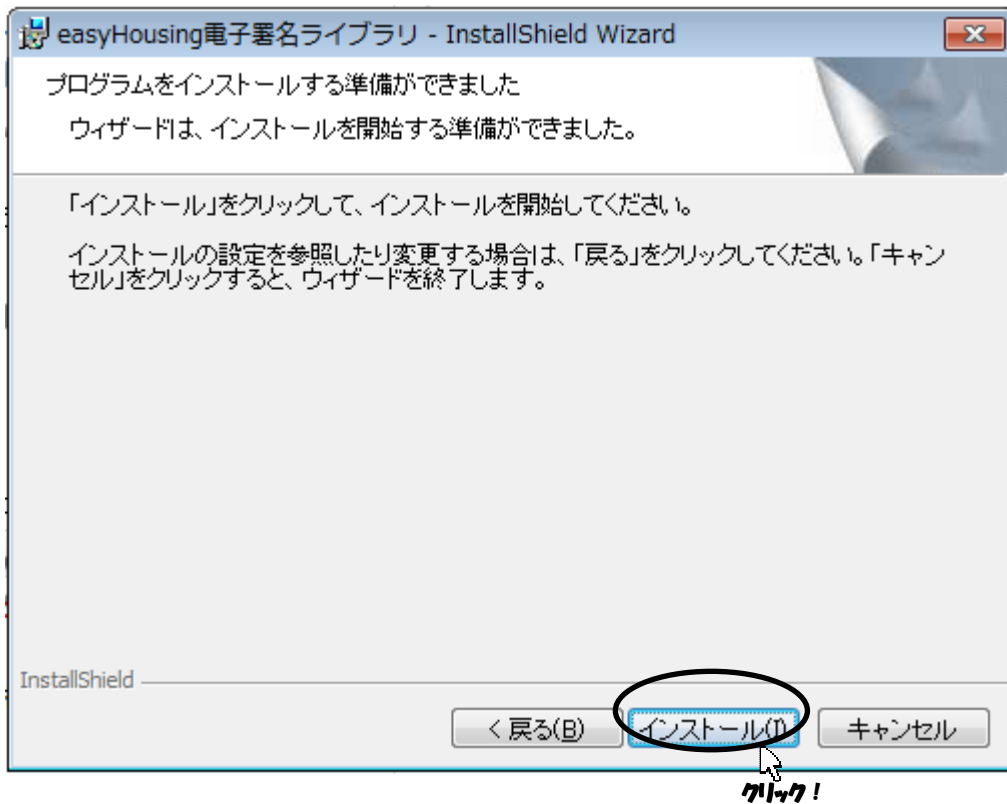
⑫<カスタムセットアップ>画面が表示されます。

「インストール先」が変更されていることを確認し、『次へ』ボタンをクリックします。
再度、インストール先を変更する場合は『変更』ボタンをクリックし、手順⑤へ戻ります。



⑬<プログラムをインストールする準備ができました・・・>画面が表示されます。

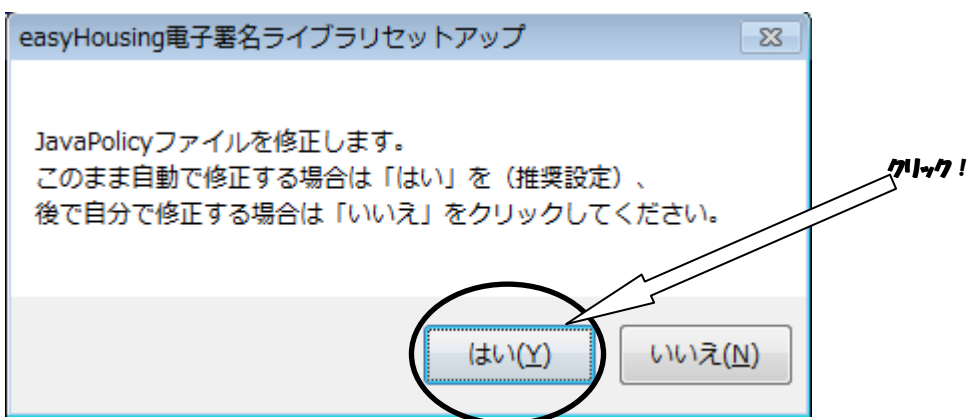
『インストール』ボタンをクリックし、インストールを開始します。



⑭インストール中に「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログが表示されます。

通常は『はい』ボタンをクリックし、修正を行います。

『いいえ』を選択した場合は、インストール後自分で修正します。



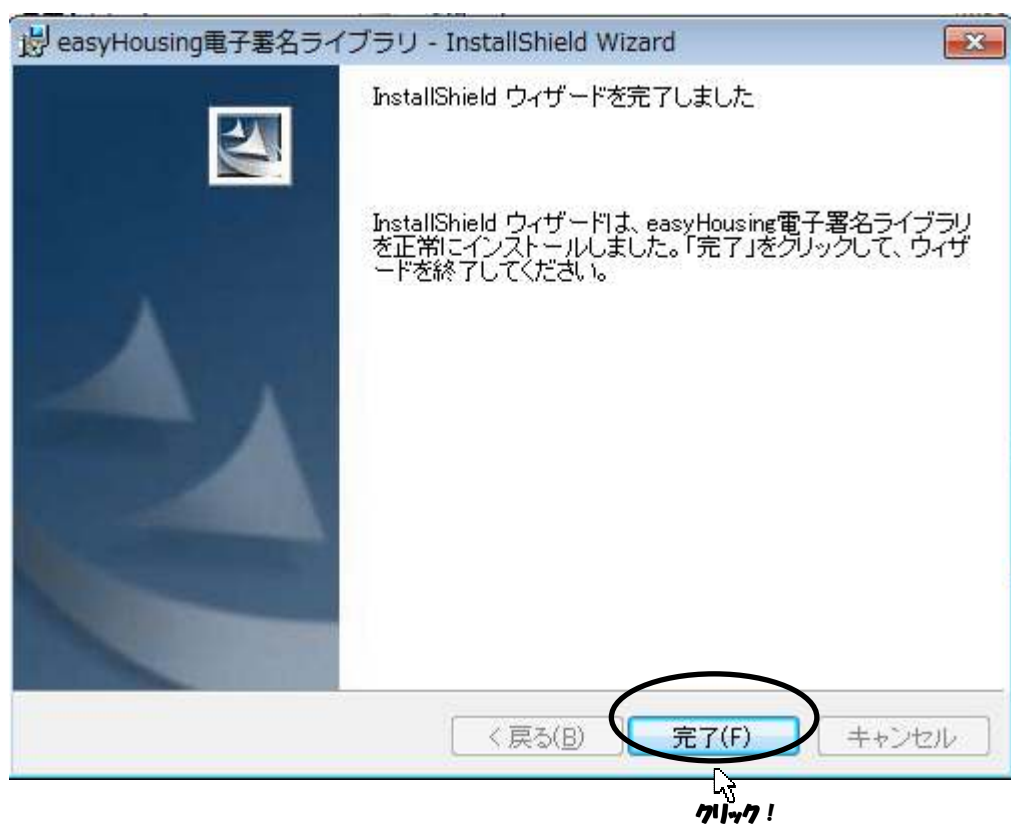
- 「JavaPolicy ファイルの修正確認」ダイアログで『いいえ』を選択しインストール後に「Javapolicy ファイル」を修正する場合は、以下の記述を追加します。

*JavaPolicy ファイルはユーザのフォルダにあります。(C:\¥Users¥(ユーザ名))

> 記述内容 <

```
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "http://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/rbowSignApplet.jar"
{
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
grant codeBase "https://www.easyhousing.ne.jp/xsigner.jar" {
    permission java.lang.RuntimePermission "loadLibrary.XSigner";
};
```

- ⑮<InstallShield ウィザードを完了しました>画面が表示されたら、『完了』ボタンをクリックし、インストール作業は終了です。

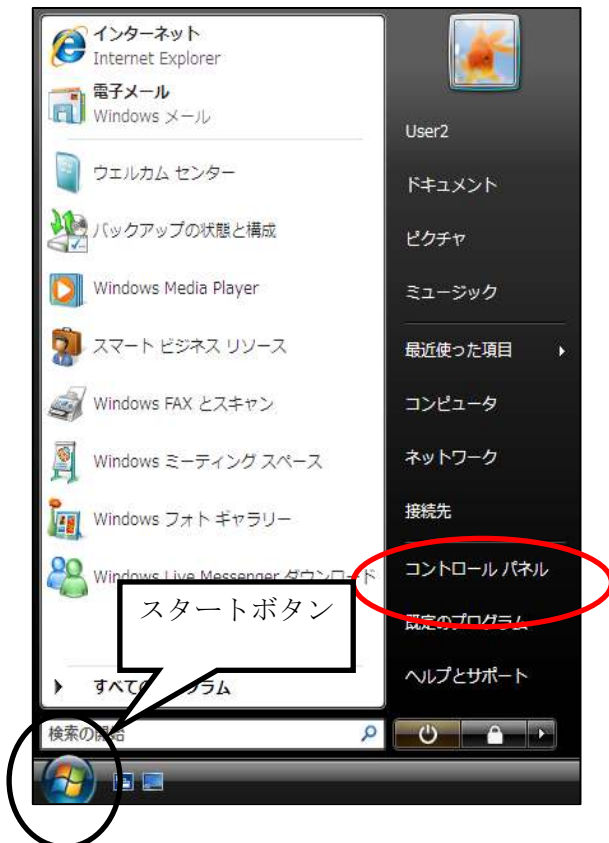


(補足) Administrator 権限の追加・削除手順

※権限の変更には、管理者ユーザのパスワードが必要になります。

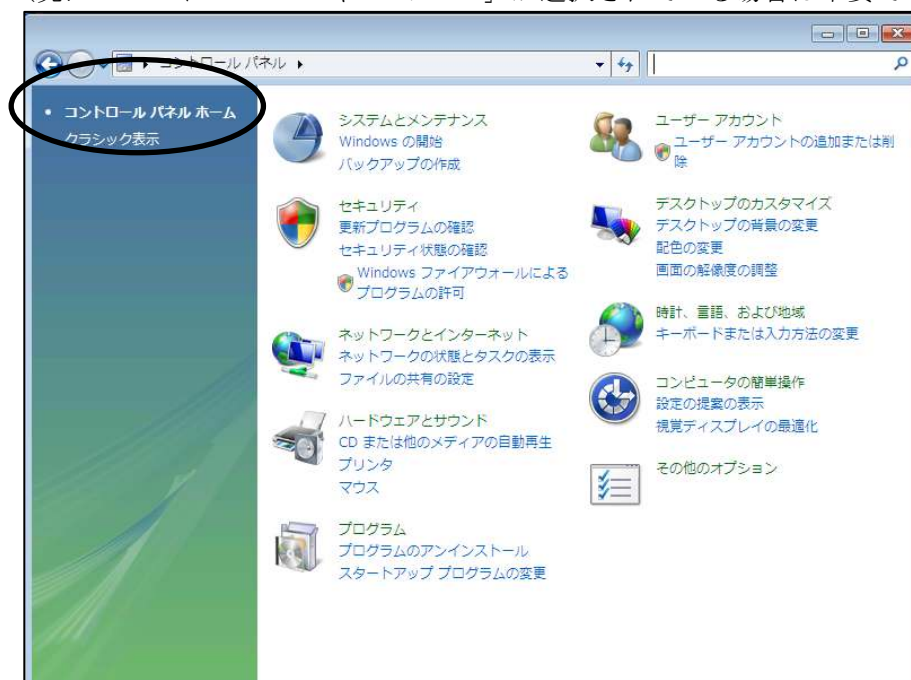
管理者ユーザのパスワードが分からない場合は、社内のパソコン管理者様にお問い合わせください。

①「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。

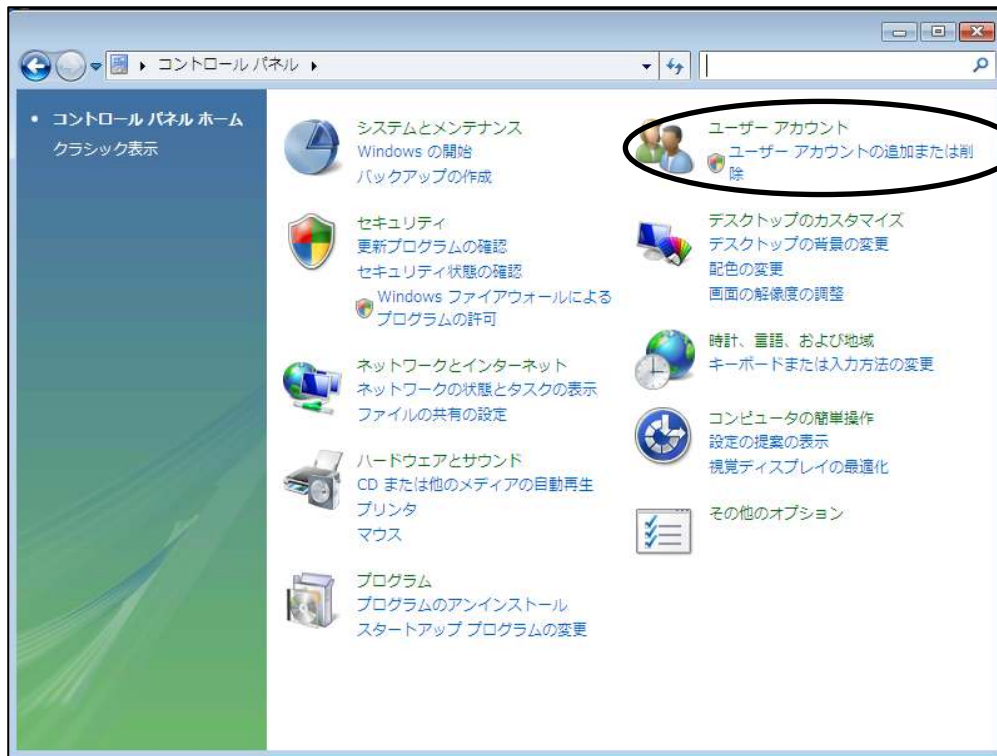


②「コントロール パネル ホーム」をクリックします。

(既に「コントロール パネル ホーム」が選択されている場合は不要です。)



③「ユーザーアカウントの追加または削除」を選択します。



④(パスワードを要求された場合) 管理者ユーザのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



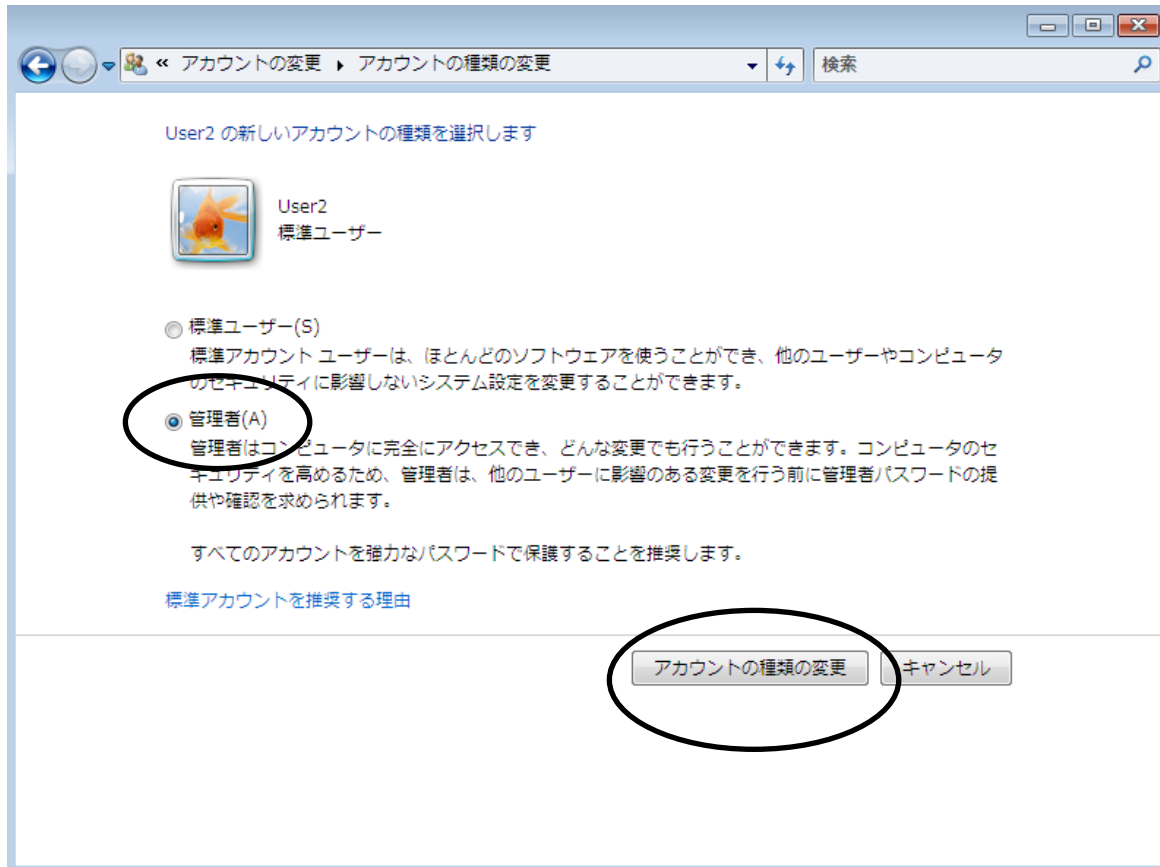
⑤権限を変更したいユーザをクリックします。



⑥「アカウントの種類の変更」をクリックします。



- ⑦Administrator 権限を追加する場合、「管理者」を選択し、
「アカウントの種類を変更」ボタンをクリックします。
(権限を削除する場合は、「標準ユーザー」を選択します)



- ⑧PC 再起動後、設定が有効になります。

5.3 Adobe Reader のインストール

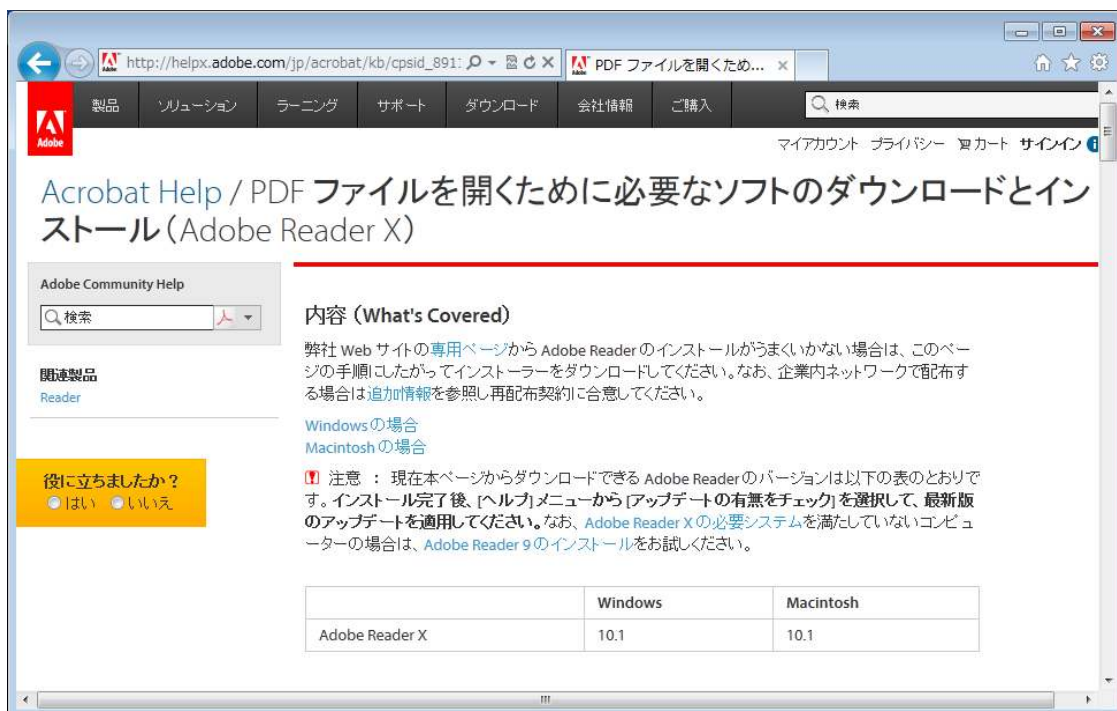
以下の手順では、Adobe Reader X(10) をダウンロードする手順について説明します。

※1:本書では、例としてバージョン X(10)を使用しますが、
Adobe Reader のバージョンは 4 以上なら動作致します。

※2:サイトの更新等により、ダウンロード時のファイル名、バージョン等が
画像と異なる場合があります。

①以下の URL にアクセスします。

http://helpx.adobe.com/jp/acrobat/kb/cpsid_89111.html



②「Adobe Reader X インストーラー」のリンクをクリックします。

Windows 版 Adobe Reader X

1. 以下のリンクをクリックし、ファイルをデスクトップなどの分かりやすい場所に保存します。

 注意：下記リンクをクリックするとすぐにダウンロードが始まります。必ずソフトウェア使用許諾書をお読みになり、同意をした上でクリックしてください。

[Adobe Reader X インストーラー](#)

③ファイルをダウンロードします。

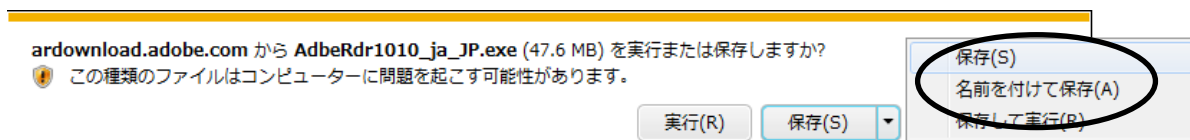
(Internet Explorer 7, 8 の場合)

『保存』を選択し、任意の場所に保存します。

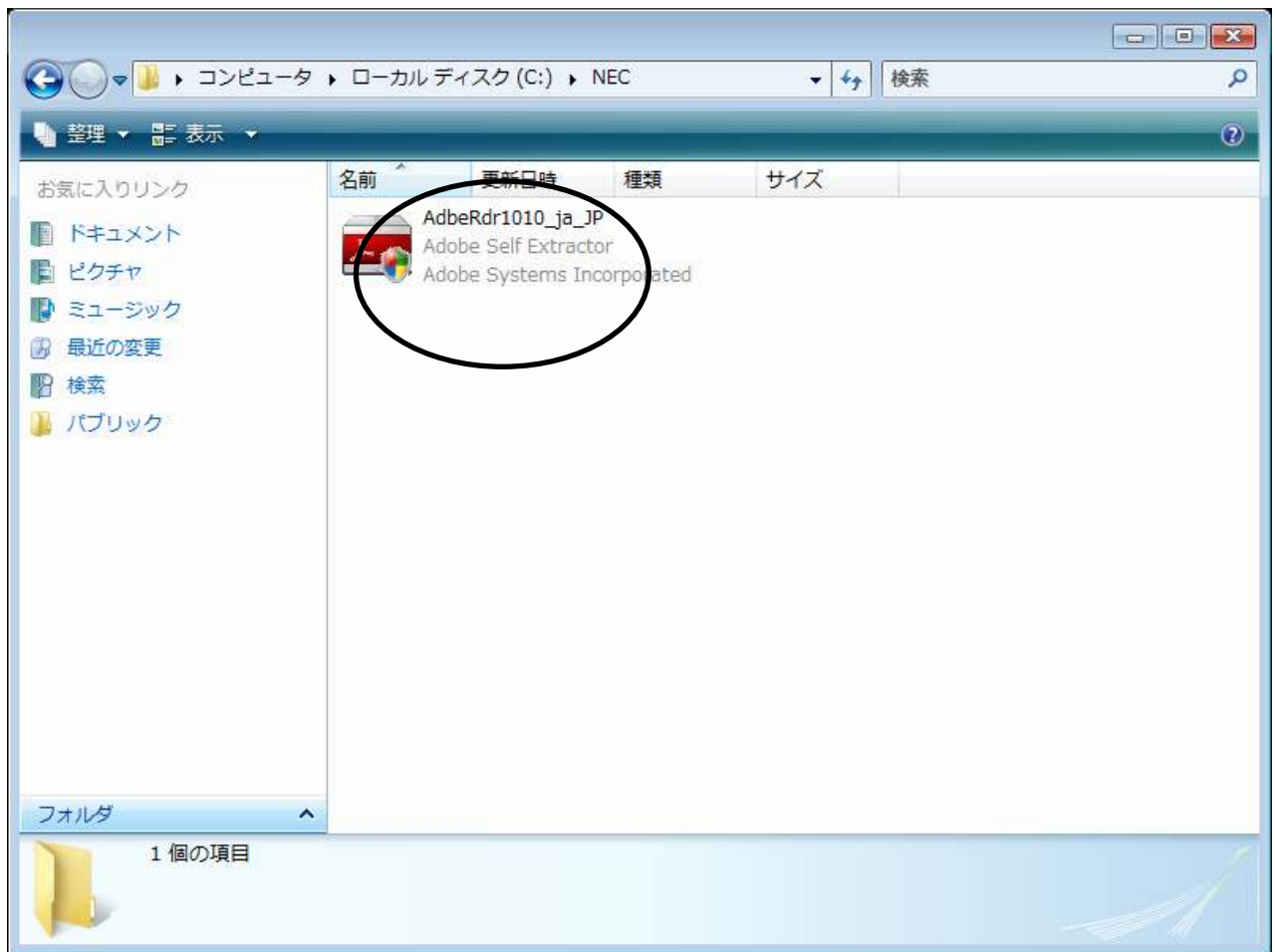


(Internet Explorer 9 の場合)

「保存」の右の▼をクリックし、「名前をつけて保存」で任意の場所に保存します。



④保存したファイルのアイコンをダブルクリックします。



⑤ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、「続行」をクリックします。



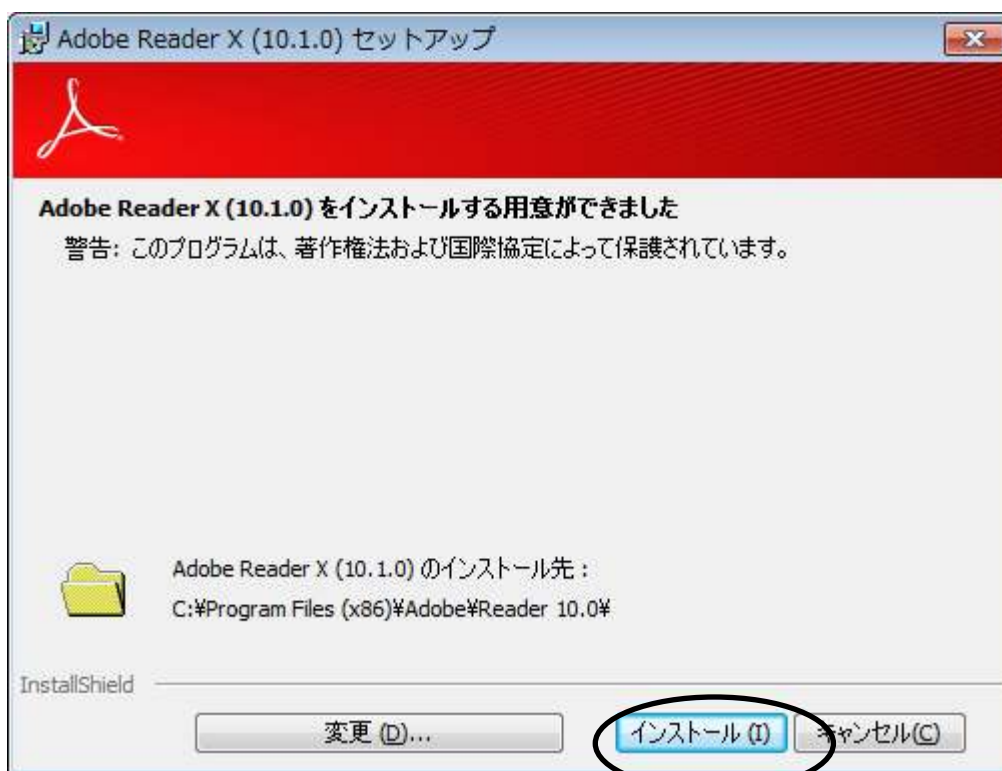
⑥進捗が 100%になるのを待ちます。



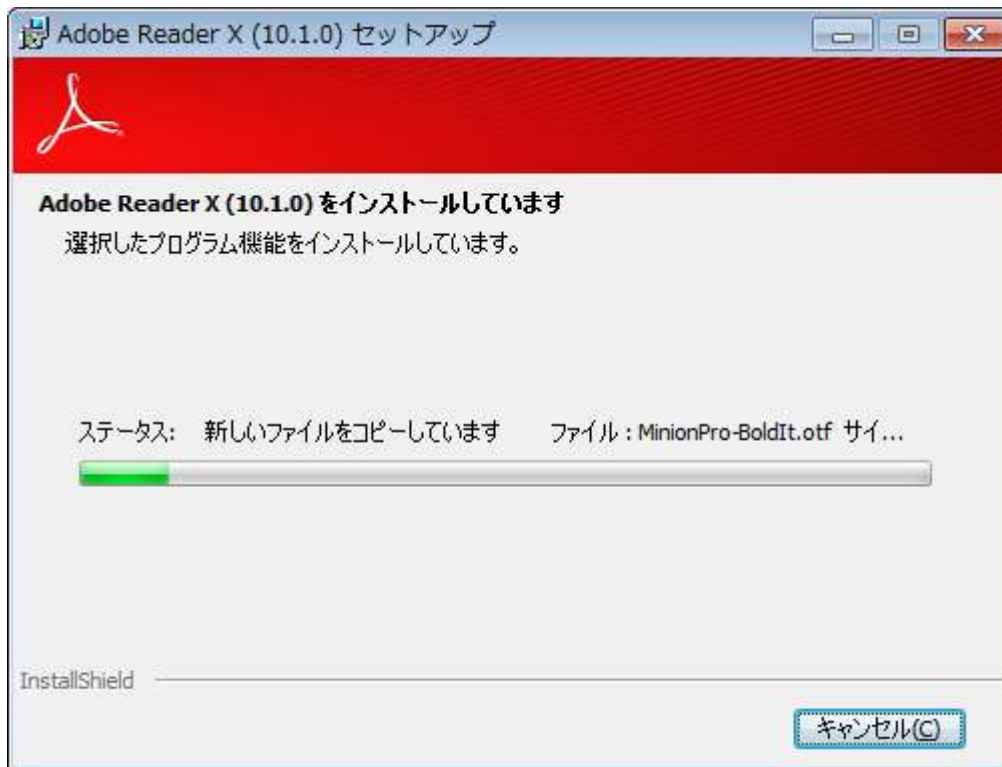
⑦インストール先を指定する画面が表示されます。

この説明ではインストール先の変更はせず、そのまま「インストール」をクリックします。

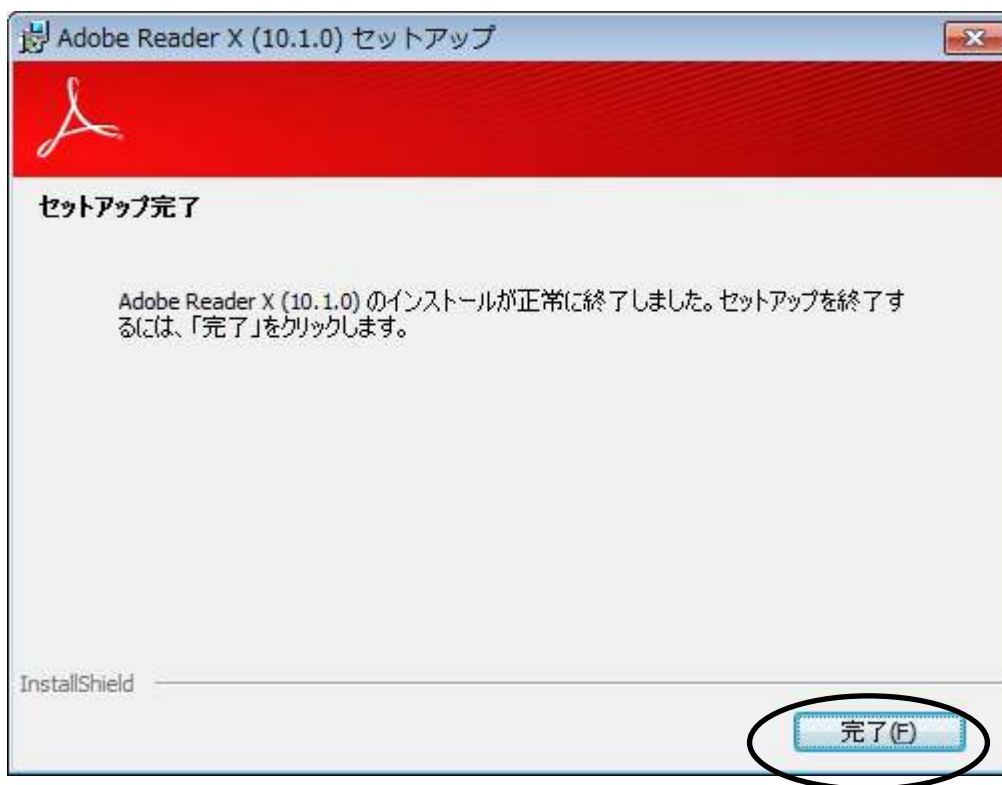
※必要に応じて「変更」ボタンでインストール先を指定することもできます。



⑧セットアップが完了するのを待ちます。



⑨「セットアップ完了」画面が表示されたら、「完了」をクリックします。



以上で、本サービス利用にあたっての環境設定はすべて終了です。

環境設定マニュアル WindowsVista 編

2013 年 1 月 18 日 第 1.5 版

製作／日本電気株式会社

- ※ Microsoft[®]、Windows[®]、Microsoft[®] Internet Explorer、は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。
- ※ その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。